

3 環境に関する市民・事業者意識調査 集計結果

調査の概要

■ 調査期間

平成23年6月1日～6月30日

■ 調査方法

- ・本調査は無記名式のアンケート調査により実施しました
- ・アンケート調査票は郵送により送付／回収しました
- ・アンケートの回答方式は基本的に選択式で、一部に記述式を含みます

■ アンケート送付先の抽出方法

市民意識調査 : 年代別及び住居地域別（下記参照）の層化抽出

事業者意識調査 : 業種等を考慮した抽出

居住地域区分

地 区	地 域 区 分
千葉ニュータウン 中央地区	大塚 1～3 丁目、牧の木戸 1 丁目、木刈 1～6 丁目、小倉台 1～4 丁目、内野 1～3 丁目、 武西学園台 1～2 丁目、原山 1～3 丁目、中央北 3 丁目、中央南 1～2 丁目、 高花 1～6 丁目、戸神台 1 丁目
千葉ニュータウン 印西牧の原地区	西の原 1～4 丁目、原 2～4 丁目
木下・大森地区	木下、竹袋、別所、宗甫、木下東 1～4 丁目、平岡、大森、鹿黒、亀成、発作、相嶋、浅間前、 木下南 1～2 丁目
小林地区	小林、小林浅間 1～3 丁目、小林大門下 1～3 丁目、小林北 1～6 丁目
永治地区	浦部、浦部村新田、白幡、浦幡新田、高西新田、小倉、和泉
船穂地区	武西、戸神、船尾、松崎、結縁寺、多々羅田
草深地区	草深、泉
瀬戸・山田・吉高	瀬戸、山田、吉高、吉高台、萩原、松虫
岩戸・師戸・吉田	岩戸、師戸、鎌苅、大廻、造谷、吉田
平賀・平賀学園台	平賀、平賀学園台
いには野	美瀬、若萩、舞姫
笠神・中根・竜腹寺	戸崎、辺田前、荒野、角田、竜腹寺、滝、物木、笠神、一区
二区～七区	二区、三区、四区、五区、六区、七区、和
滝野	滝野

■ アンケート集計方法

- ・択一式の設問では、各選択肢の選択割合（各選択肢の選択数 ÷ 回答数）及び無回答の割合（無回答数 ÷ 回答数）を集計しました
- ・複数選択式の設問では、各選択肢の選択数及び無回答の数を集計しました
なお、複数選択式の設問では、回答数と回答者数は一致しません
- ・本書では回答割合を百分率で小数第 1 位まで表示（小数第 2 位を四捨五入）しているため、各選択肢の合計が 100%にならない場合があります

■ アンケート回収率

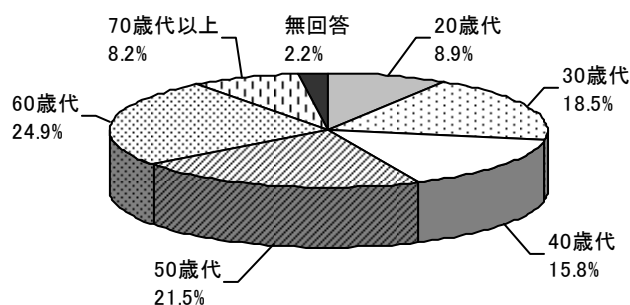
	市民	事業者
発送数	2,000	200
回収数	550	54
回収率	27.5%	27.0%

市民意識調査の結果

1 回答者の属性

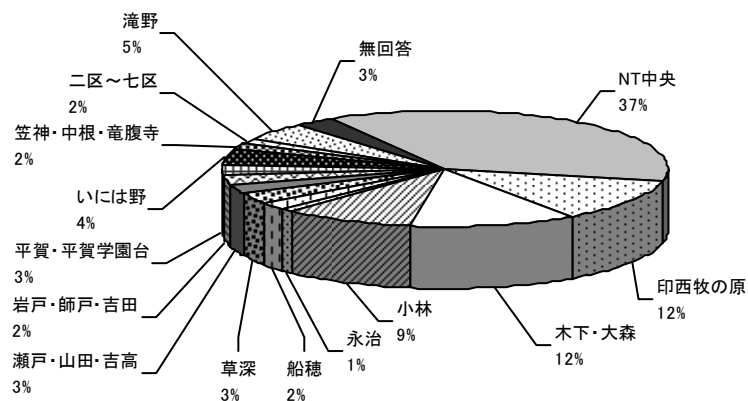
問1-1 あなたの年齢は何歳ですか。（1つ選択／6選択肢）

回答数 538



問1-2 お住まいの地区はどこですか。（1つ選択／7選択肢）

回答数 533



回答者の年齢・住所分布は印西市の人口分布に概ね比例した結果となっています。

回収率は27.5%で、昨年（35.9%）を下回りました。

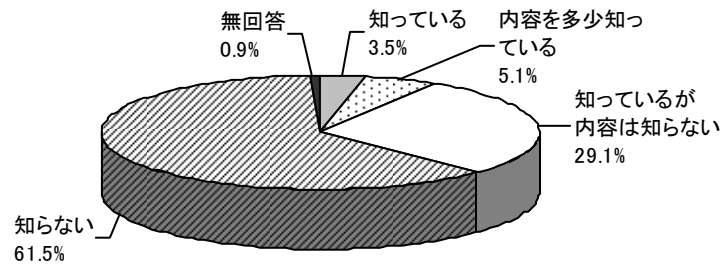
年齢層別の回収数（問 1-1）は、30 歳台～60 歳台の割合が多く、これまでの調査結果と共通しています。

居住地域別の回収数（問 1-2）は、旧印西市が全体の約 78%を占め、特に千葉ニュータウン地区が多い点はこれまでの調査と同様でした。本年度より調査を開始した旧印旛村及び旧本埜村地域の回収数は印旛村が全体の約 13%、本埜村が約 9%となりました。

2 印西市環境基本計画について

問2-1 あなたは、「印西市環境基本計画」をご存知ですか。（1つ選択／4選択肢）

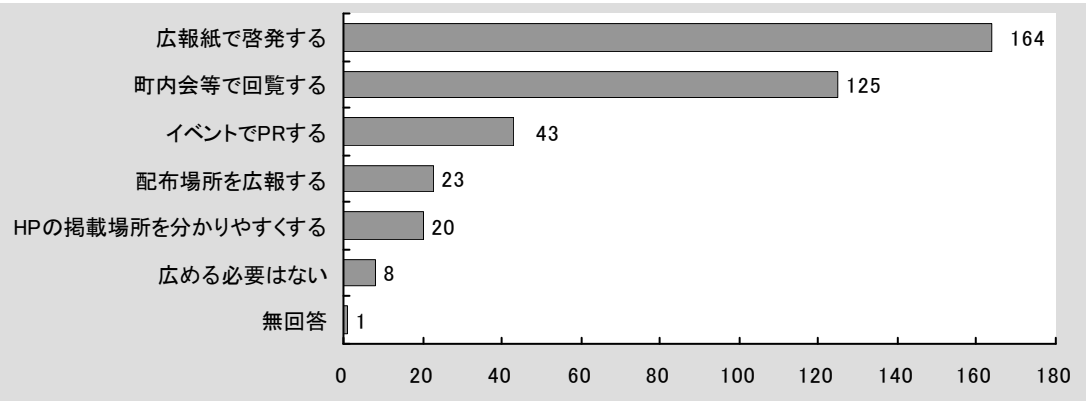
回答数 545



問2-2 問2-1で「知らない」と答えた方(338人)に質問します。
計画を広めるためにどのような取組みをしたらよいと思いますか。（1つ選択／5選択肢）

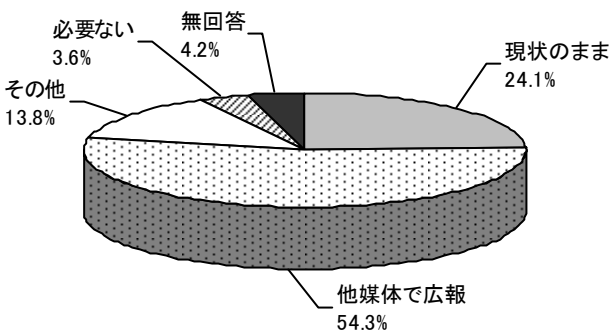
回答数 384（435人）

- ※ 問2-1で「知らない」以外を選択した方(37人)の回答を含む
- ※ 2つ以上選択した方(8人)の回答を含む
- ※ 問2-1で「知らない」を選択し、問2-2を回答していない場合は無回答(1人)とした



問2-3 今後、環境に配慮した行動を啓発していくためには、どのように広報を行っていくことが望ましいと思いますか。（1つ選択／4選択肢）

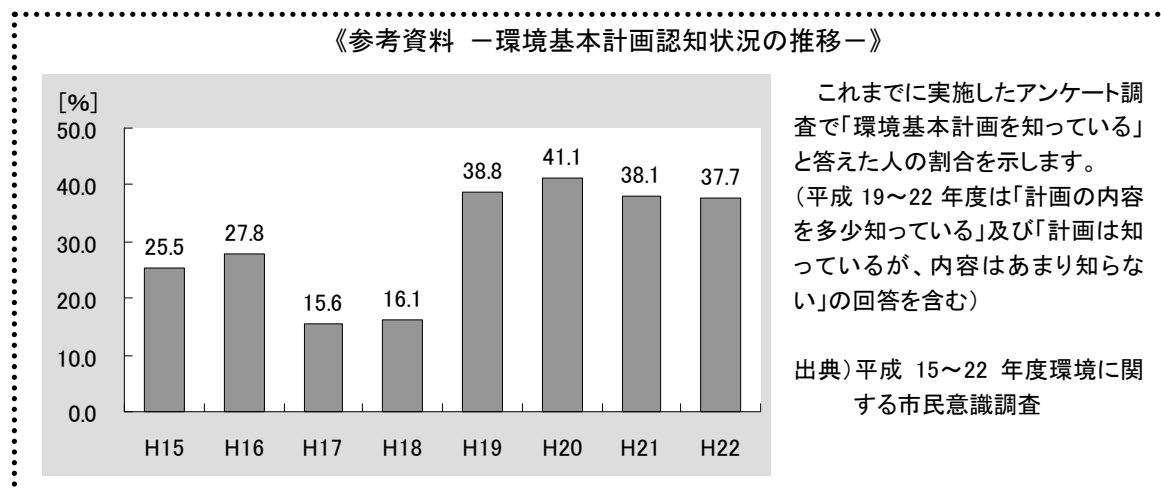
回答数 600



《 その他の主な意見 》

意 見	意見数
駅やスーパーなどでPRする	13
広報紙に掲載する	11
イベント等でPRする	10
町内会や自治会で回覧する	6
小中学校等を通じて周知する	5
折込チラシやポスティング	3
市のホームページで広報する	2
その他	・できるだけ費用をかけずに ・公共施設等で配布する ・TV放送等を利用する など

環境基本計画の認知状況（問 2-1）は、「計画のことは知っている」、「計画の内容を多少知っている」、「計画は知っているが、内容はあまり知らない」の合計が 37.7% となり、昨年（38.1%）を下回りました。今後も旧印旛村及び旧本埜村地域のみなさんにも知っていただけるような PR 方法を検討し、啓発を図っていく必要があります。



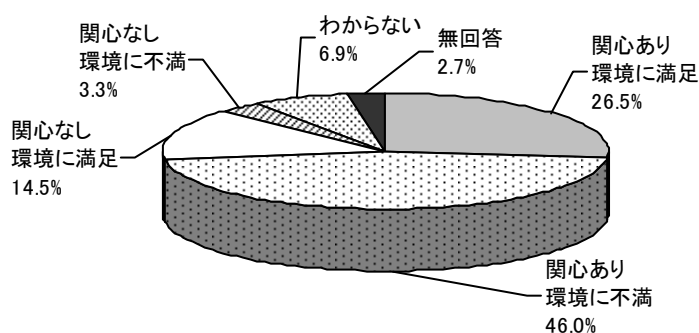
計画の周知方法（問 2-2）については、広報紙や町内会・自治会の回覧など、各家庭まで届けられる媒体による方法が多く選ばれました。

環境行動指針（市民版）など環境に配慮した行動を啓発していくための方法（問 2-3）では、各家庭に届けられる広報紙や回覧による方法に加えて、人が多く集まる駅やショッピングセンターでポスターを掲示したり、PR イベントを行うといった意見が多く寄せられました。一方で、広報に必要以上の費用を使わないように求める声も多く、今後の普及・啓発方法を検討する上でも留意していく必要があります。

3 環境問題に対する認識について

問3-1 あなたは環境問題に関心がありますか。
また、市内の環境についてどのように感じていますか。（1つ選択／5選択肢）

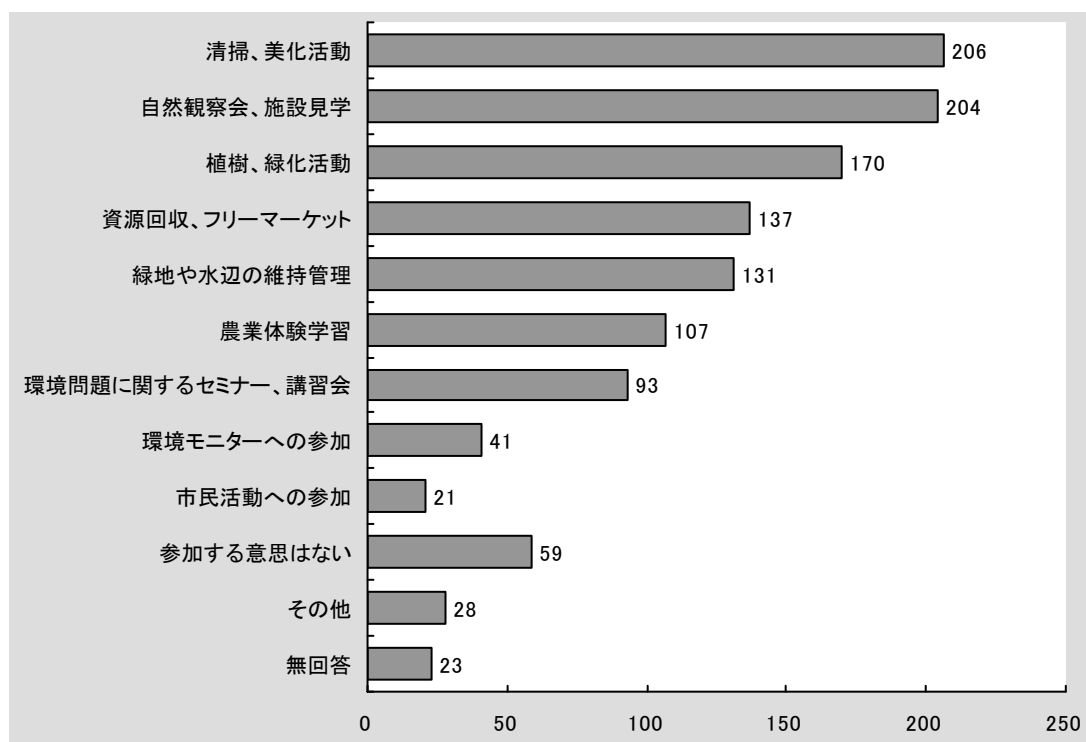
回答数 535



「環境問題に関心を持っている」と答えた人の割合は 72.5% と非常に高い一方、市内の環境に「満足している」人は 41.1% で、「満足していない」人（49.3%）を下回りました。

問3-2 あなたは、印西市の環境保全に関するイベントや活動などで、今後取り組みたいものはありますか。（3つまで選択／10選択肢）

回答数 1,197（527人）



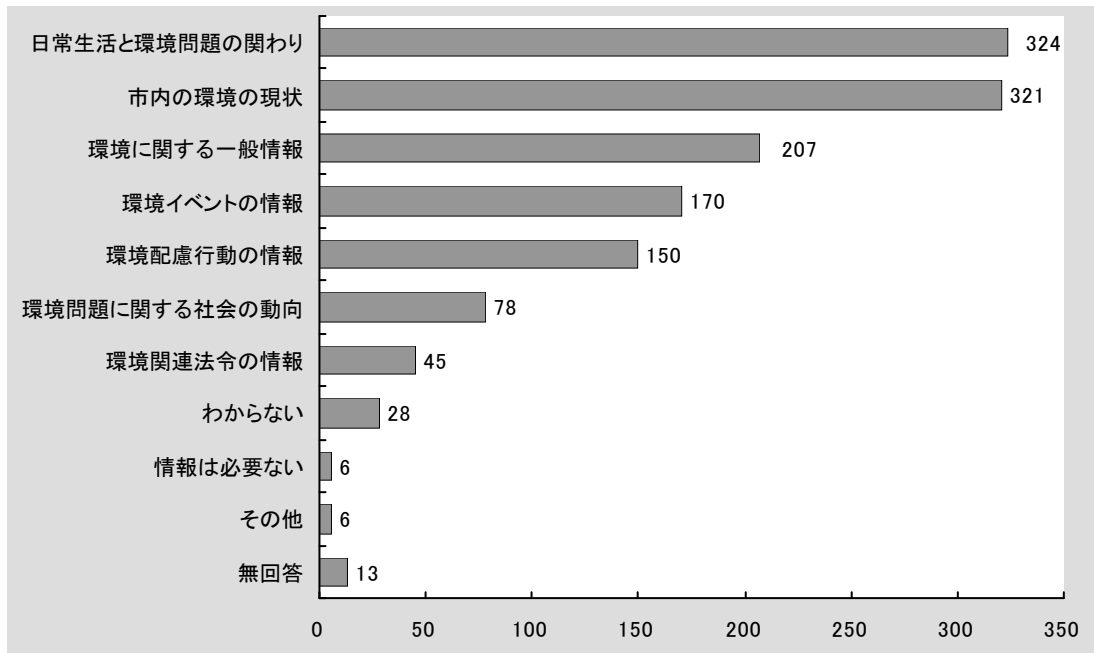
《 その他の主な意見 》

- ・活動する団体、個人を表彰する
- ・下水、生活排水を流さない活動や運動
- ・子どもと一緒に参加できるイベント
- ・高齢、体力、仕事などの理由で参加できない など

今後取り組んでみたい環境活動（問 3-2）としては、「清掃活動や美化活動」と「自然観察会、施設見学」が最も支持されました。市民のみなさんがこれらの活動に参加しやすい環境づくりが今後の課題と言えます。一方で、「市民活動（NPO など）」や「環境モニター（環境家計簿の提出など）」への参加意欲は低い結果となり、今後も引き続き普及・啓発に努めていく必要があります。

問3-3 あなたが環境についてもっと関心を深めるためには、どのような情報が必要と考えますか。
(3つまで選択／9選択肢)

回答数 1,721 (651人)



《 その他の主な意見 》

- ・全国の自治体の現状や取組みと印西市の比較
 - ・現状の問題点を抽出し町内会で回覧
 - ・放射性物質濃度などの正しい情報
 - ・原発事故の問題
- など

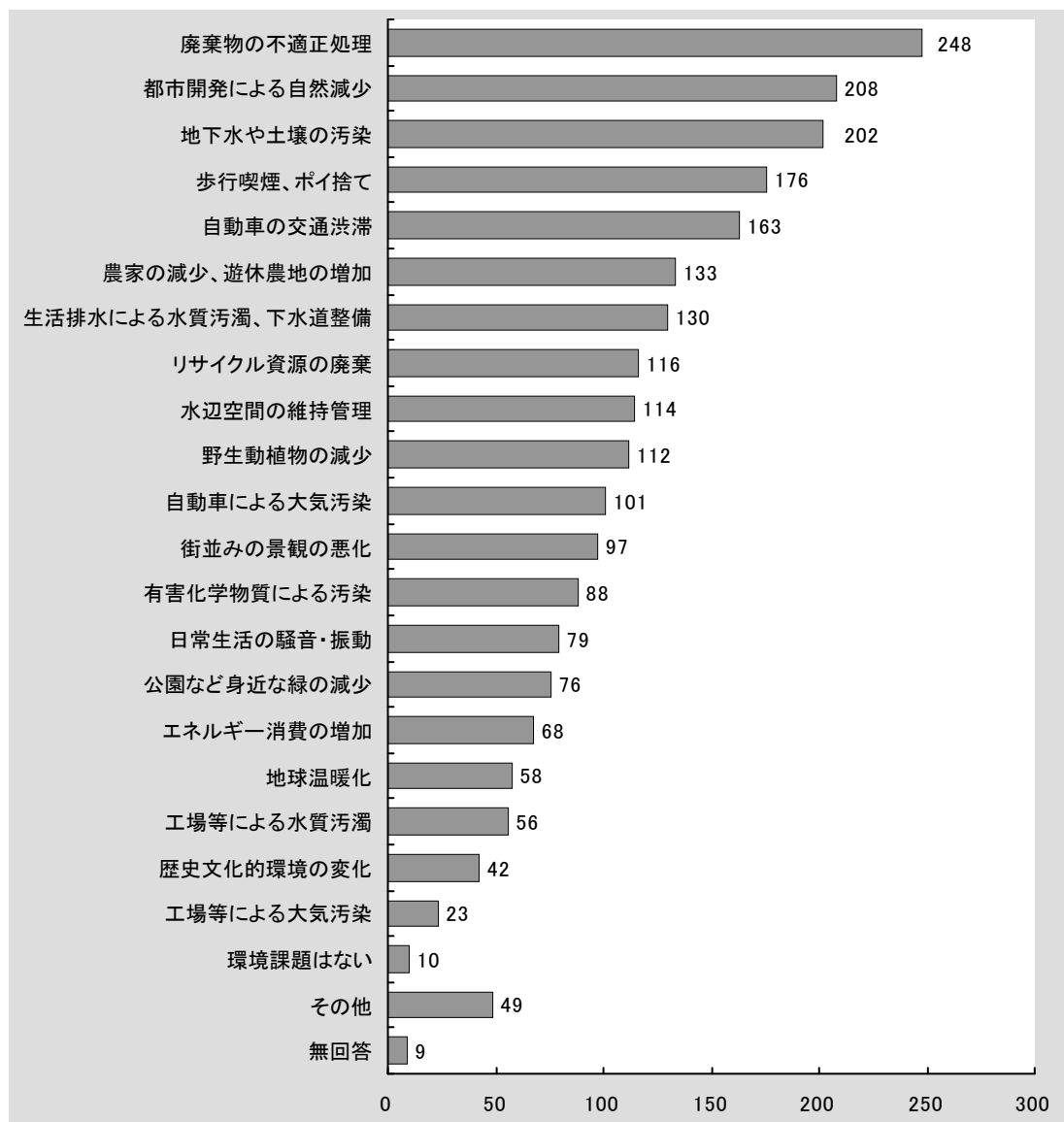
「日常生活と環境問題の関わりがわかる情報」や「市内の自然環境や都市環境などの現状に関する情報」を必要と考える人が多く、日常生活の中で環境に関わってほしいという意識が反映されています。

市としては、環境白書や広報紙を通じて市内の環境に関する情報提供を積極的に行うとともに、環境行動指針（市民編）などを活用して、具体的な環境行動について普及・啓発に努めていく必要があります。

4 市内の環境について

問4-1 現在、あなたが感じている印西市が早急に取り組を進めるべき環境課題はなんですか。
(複数選択/21選択肢)

回答数 2,349 (541人)



《 その他の主な意見 》

意見の概要		意見数
原発事故及び放射能汚染に関する調査・対策		14
道路整備(街灯の設置、街路樹・植込みの管理、清掃など)		7
その他	・蚊が多い ・印旛沼の浄化 ・学校や病院の充実 ・公園の衛生状態 ・違法な路上駐車対策 ・有害鳥獣対策(イノシシなど) ・開発や農業使用によるホタルの減少 ・公共交通機関の拡充 ・空地の雑草対策 ・防災対策 など	

印西市が早急に取り組むべき環境問題では、市民のみなさんが不満に思っている環境課題が抽出されます。廃棄物の不法投棄やポイ捨てに関する問題は、過去のアンケートでも常に重要課題として取り上げられており、より一層の対策強化が求められています。

また、「都市開発による自然の減少」や「歩行喫煙・ポイ捨て」については平成 19 年度以降ずっと上位にあげられており、これらの選択肢を選んだ人の割合も増加傾向にあるため、今後早急な対策検討が必要と言えます。

《 参考資料 ― 早急に取り組むべき環境問題の推移 ― 》

順位	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
1	不法投棄・ポイ捨て (49.9%)	不法投棄・ポイ捨て (44.3%)	不法投棄など廃棄物問題 (40.8%)	不法投棄など廃棄物問題 (38.3%)	不法投棄など廃棄物問題 (44.3%)	不法投棄など廃棄物問題 (45.8%)
2	里山の保全・活用 (30.6%)	里山の保全・活用 (32.3%)	歩行喫煙・ポイ捨て (31.2%)	歩行喫煙・ポイ捨て (31.6%)	都市開発による自然の減少 (32.3%)	都市開発による自然の減少 (38.4%)
3	河川水質の浄化 (27.1%)	河川水質の浄化 (22.2%)	都市開発による自然の減少 (29.4%)	都市開発による自然の減少 (30.8%)	歩行喫煙・ポイ捨て (29.8%)	地下水や土壌の汚染 (37.3%)
4	ごみ分別方法の情報提供 (16.9%)	大気汚染対策 (20.2%)	自動車の交通渋滞 (28.3%)	自動車の交通渋滞 (26.7%)	自動車の交通渋滞 (25.5%)	歩行喫煙・ポイ捨て (32.5%)

※ 括弧内は回答者数に占める各選択肢を選んだ人数の割合

出典)平成 15～22 年度 環境に関する市民意識調査

問4-2 印西市内であなたが一番大切だと思う場所、将来に残したい場所などがありますか。
(場所と理由を記述式にて回答)

回答者数 215人

分 類	意見数	回答が多かった場所 (括弧内は意見数)
里山環境 田園風景	78	草深(13)、結縁寺周辺(7)、戸神地区(3)、浦部地区(3)、大森地区(2)、松山下公園周辺(2)、武西地区(2)、滝野地区(2)、ジョイフル北側(2) など ※具体的な地名を出さず、雑木林や谷津、水田、田畑など、市内全般的な里山の環境を挙げる回答が多い
水辺	59	印旛沼(27)、利根川(7)、亀成川(5)、手賀沼(4)、印旛捷水路(3) など
公園	32	北総花の丘公園(12)、大塚前公園(3)、草深公園(2)、滝野公園(2)、万葉公園(2)、浦旛公園(2) など
花や緑の景観	18	吉高の大桜(9)、小林牧場の桜並木(5)、コスモス畑(2)、市内の桜並木(2)
歴史・文化	17	松虫寺(5)、光堂(3)、木下貝塚(1)、宗像神社(1)、将門城跡(1)、風土記の丘(1)、武蔵屋(1)、名馬塚(1)、吉岡問屋(1) など
都市の景観	5	印西牧の原駅周辺(2)、ニュータウン中央駅地区(1)、国道 464 号沿い(1)、イオン千葉ニュータウン(1)
その他	15	白鳥飛来地(3)、印旛高校跡地(2)、萩原区内庚申塚(1)、大森小学校(1)、ひょうたん山周辺(1)、市内全部 など

自然の生き物を含む里山環境や田園風景を大切にしたいという意見が多い点は、これまでの調査結果と同様です。

今回2番目に支持されたのは水辺環境で、前年度調査まで2番目に多い支持を得ていた公園を上回りました。印旛沼や利根川、印旛捷水路とその周辺環境を残したいという意見が多く、合併に旧印旛村地域や旧本埜村地域の水辺が多く多くの市民にとってより身近になってきたものと考えられます。

また、同じく旧印旛村地域で観光客にも人気がある吉高の大桜が、残したい環境として支持を得ています。

5 環境行動への取組みについて

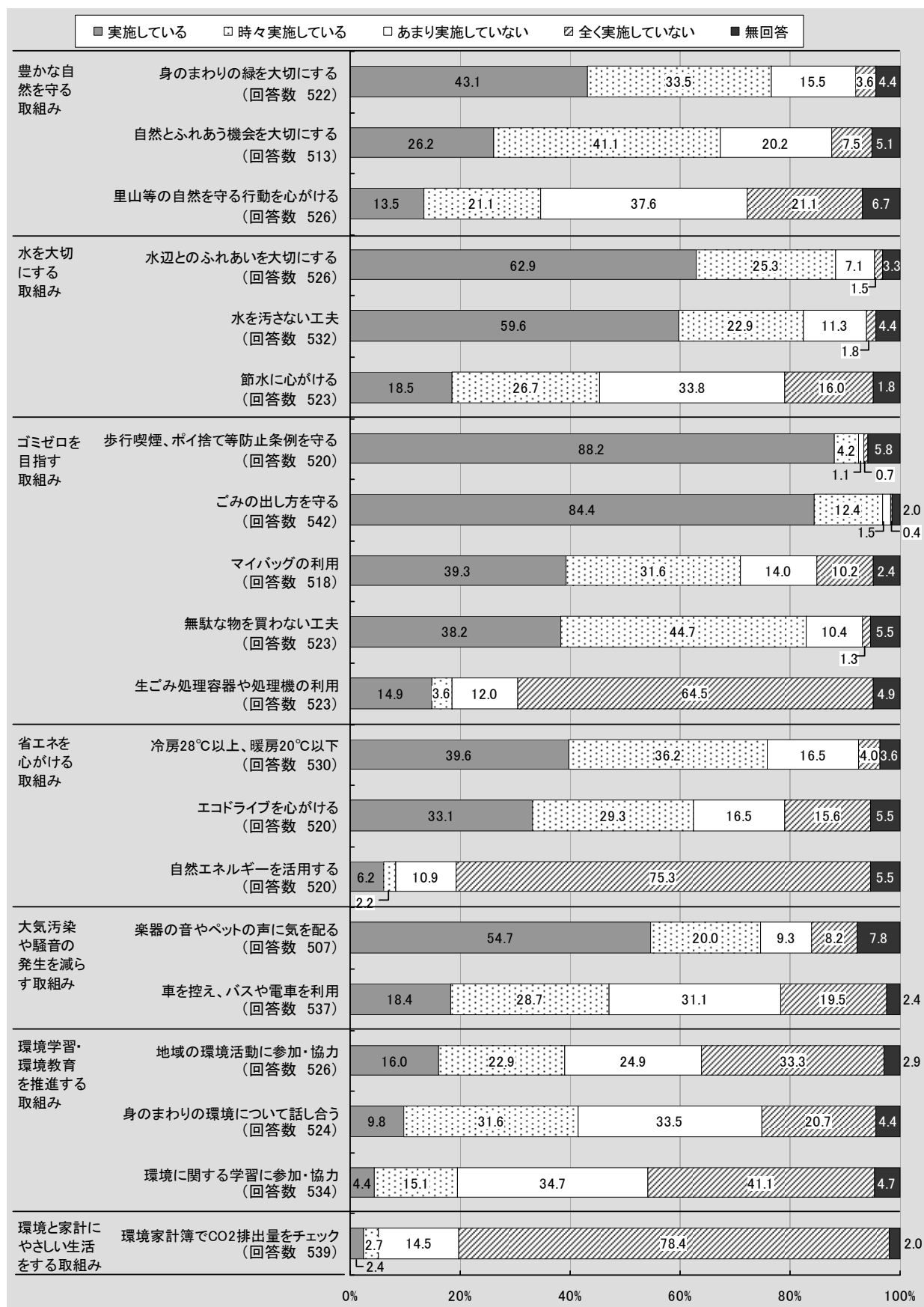
環境行動への取組み状況（次頁参照）を見ると、「歩行喫煙、ポイ捨て防止条例を守る」「ごみの分け方や出し方を守る」「水辺とのふれあいを大切にする」「水を流したままにせず節水に心がける」「楽器の音やペットの声に気を配る」の5項目で半数以上の方が「実施している」と答えており、日常生活の中で環境を意識した行動に取り組まれていることが分かります。

また、「冷房 28℃以上、暖房 20℃以下」「エコドライブを心がける」「自然エネルギーを活用する」といった行動に取り組む方も前年度より増加しており、平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災と福島第一原子力発電所事故による深刻な電力不足を経験したことが、省エネ意識を高める一因になっていると考えられます。。

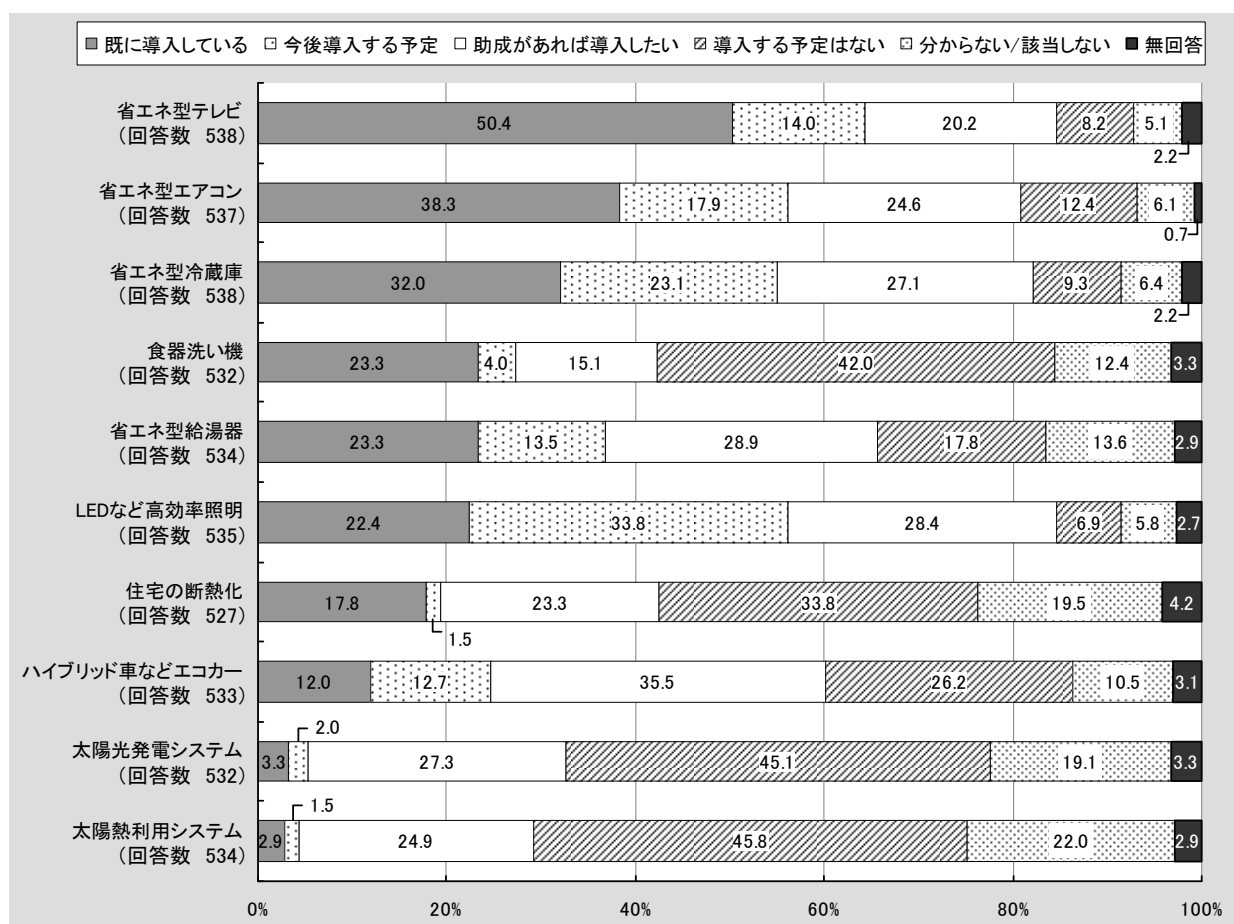
一方で、「環境学習・環境教育を推進する取組み」や「環境家計簿をつけて、環境にも家計にもやさしい生活をする取組み」の実施割合は依然として低く、引き続き環境活動への参加促進を図っていく必要があります。

5 環境行動への取組みについて

問5-1 環境の行動について、あなたは普段以下のようなことを行っていますか。
(各1つ選択／4選択肢)



問5-2 家庭における省エネ機器の導入状況を教えてください。
(各1つ選択/5選択肢)



家庭における省エネ機器の導入状況を見ると、最も多く導入されているのは「省エネ型テレビ」で、半数以上の型が導入済みでした。平成23年7月に予定される地上デジタル波への完全移行に備えてテレビを買い換えた人が多かったためと考えられます。

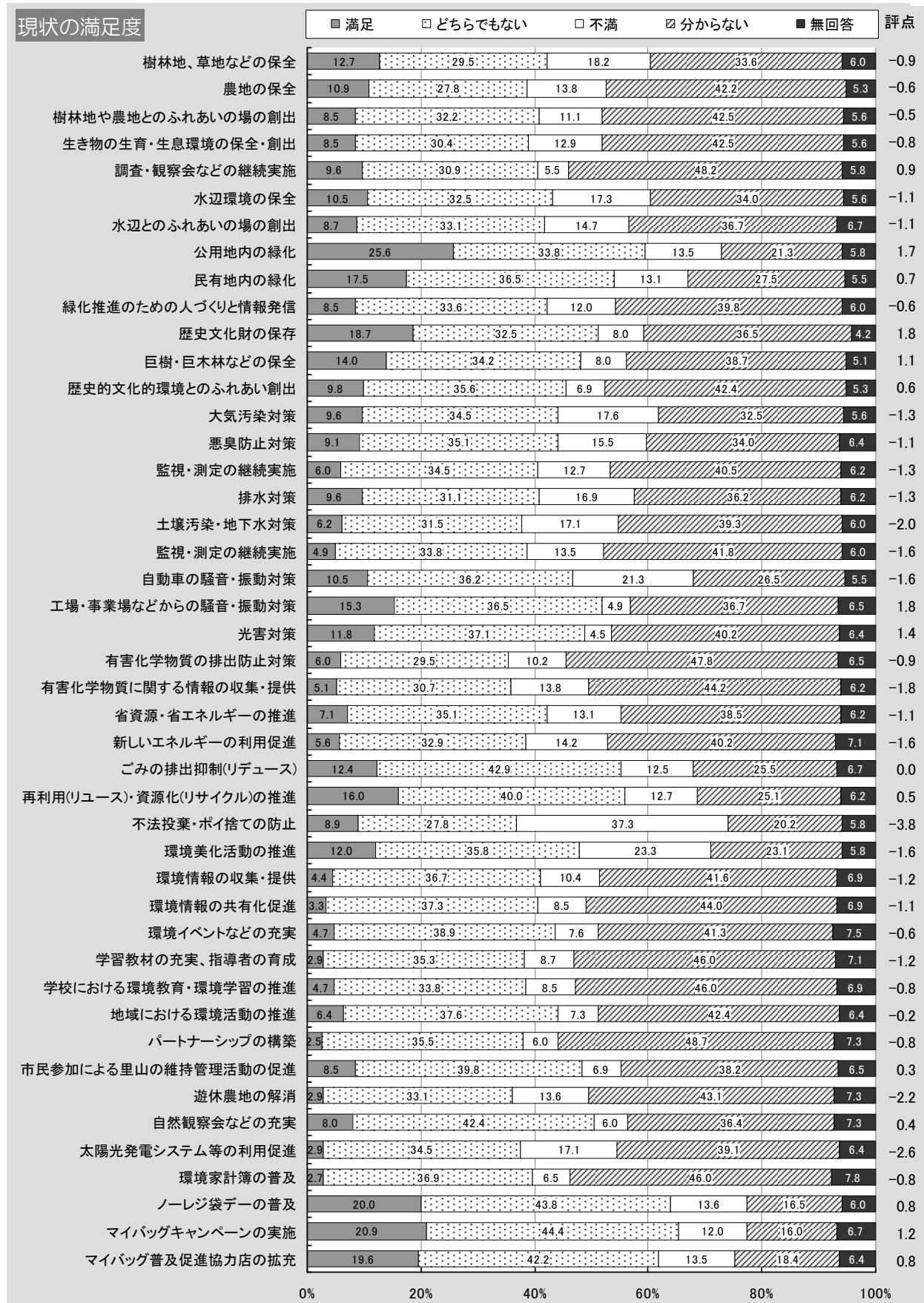
次いで、「省エネ型エアコン」や「省エネ型冷蔵庫」など更新サイクルが比較的短く、省エネ型商品の選択肢が多い機器の導入が進んでいます。

23.3%の家庭で導入済みとなった「食器洗い機」については、省エネ機器と意識され難いですが、給湯器を使って手洗いする場合に比べると光熱費やCO₂排出量を低減できるとされています。

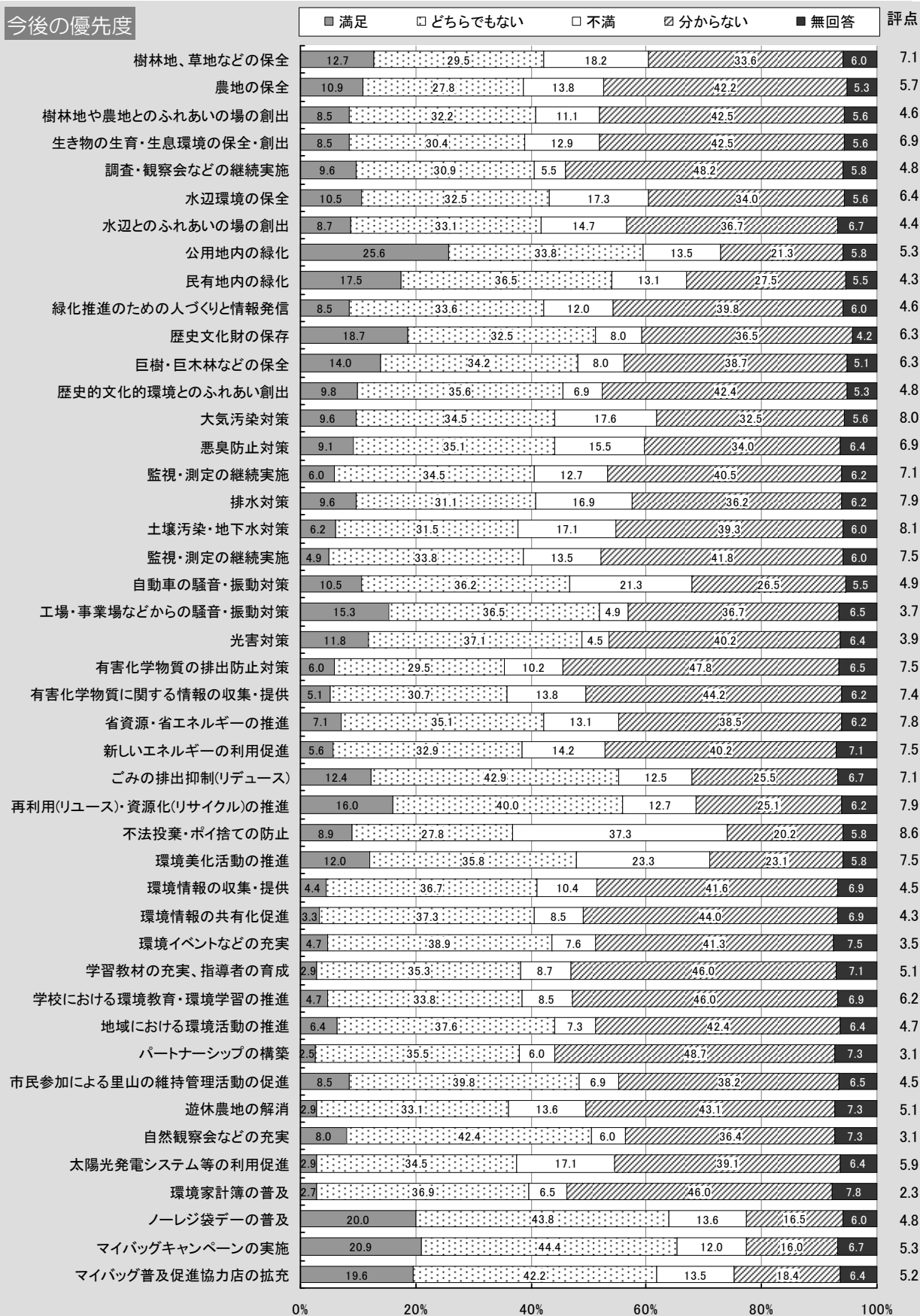
一方、導入時の初期投資額が大きい「ハイブリッド車などエコカー」「太陽光発電システム」「太陽熱利用システム」等の導入率はやはり低く、国や市による各種助成制度等を広報し、普及に努めていくことが望まれます。

6 環境施策の優先度・満足度

問6 これまでの環境施策や環境の現状に対する満足度と今後における対策の優先度を教えてください。（満足度と優先度について各1つ選択／4選択肢）



今後の優先度



■ 満足度・優先度の点数化

各施策の現状に対する満足度と今後における優先度を比較しやすくするため、アンケート結果に基づいて評点（各グラフ右端の数値）を算出し満足度・優先度マップを作成しました。

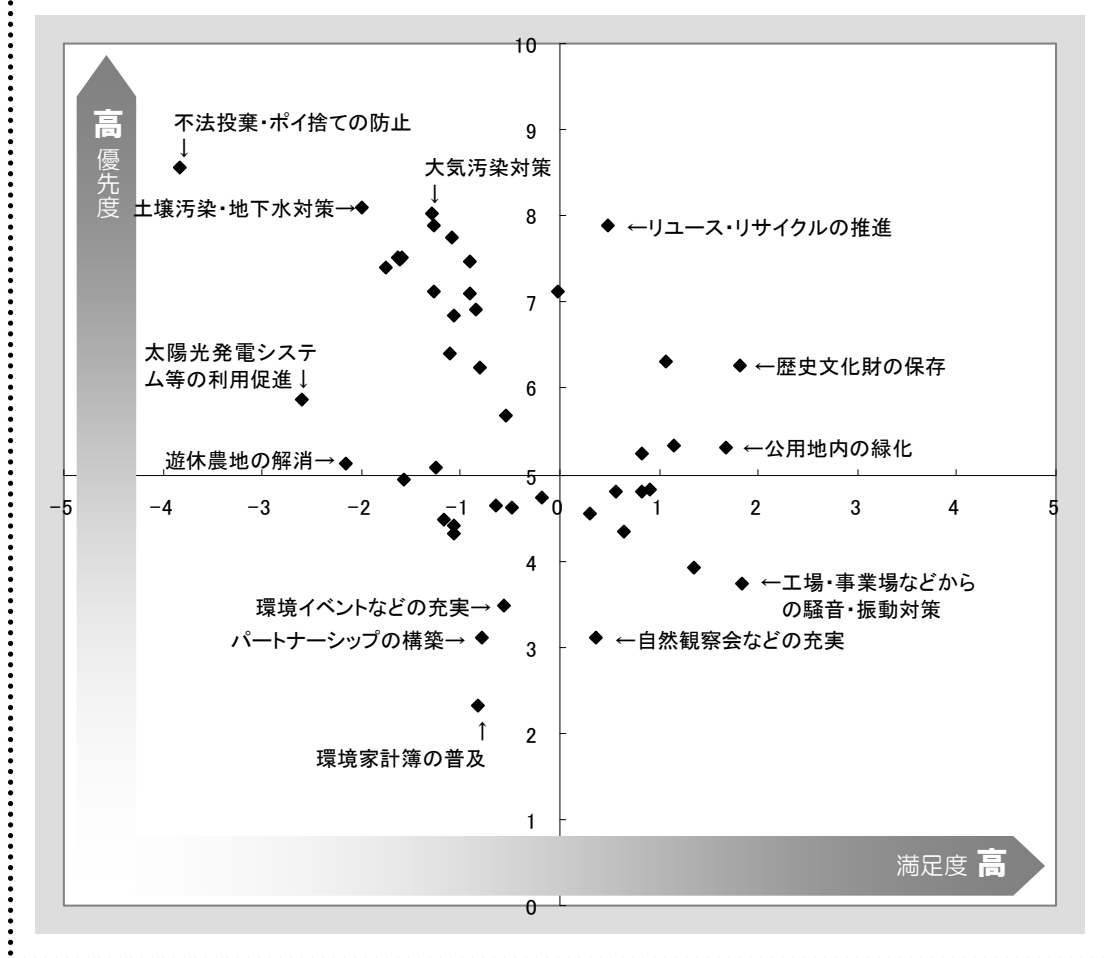
評点の算定式

満足度 = $(\text{「満足」回答数} \times 10) + (\text{「不満足」回答数} \times -10) \div \text{全回答数}$

優先度 = $(\text{「優先すべき」回答数} \times 10) + (\text{「優先すべきでない」回答数} \times -10) \div \text{全回答数}$

※ 全回答数には「分からない」の回答数を含まない

《 参考資料 ー各施策の満足度・優先度マップー 》



現状への満足度を見ると、「歴史文化財の保存（1.8点）」「工場・事業場などからの騒音・振動対策（1.8点）」「公用地内の緑化（1.7点）」などは満足度が比較的高く、今後も現状レベルを維持していきたい施策と言えます。

逆に、「不法投棄・ポイ捨ての防止（-3.8点）」「太陽光発電システム等の利用促進（-2.6点）」「遊休農地の解消（-2.2点）」などは満足度が低く、今後より一層の対策が求められます。

特に「不法投棄・ポイ捨ての防止」は今後の優先度（8.6点）が最も高く、市民の関心が非常

に高い施策であることが分かります。次いで優先度が高かったのは「土壌汚染・地下水対策（8.1点）」や「大気汚染対策（8.0点）」など、暮らしの安全や健康に関する項目が目立ちます。

一方、「環境家計簿の普及（2.3点）」や「パートナーシップの構築（3.1点）」「自然観察会などの充実（3.1点）」などは優先度が低いと考えられているようですが、これらはいずれも「分からない」の回答数が多かった施策でもあり、施策の現状や目的などについて十分な周知がなされていないために正しく評価されていない側面があると考えられます。

■ 満足度・優先度による現行施策の

算定した評点に基づいて各施策の満足度・優先度をグループ化しました。

グループA（施策の優先度が高く、現在のところ満足度が低いグループ）

このグループは『優先的であり、現在の取組みが十分でない』と評価され、今後より強力な推進が求められる施策たちです。また、市民の課題意識が最も高い課題と言えます。

個別目標⑥「空気をきれいにする」や個別目標⑦「水や土をきれいにする」個別目標⑨「有害化学物質による汚染を防ぐ」など、健康や安全に係る項目の多くがここに含まれます。また、他の設問でも関心の高さが表れている個別目標⑩「エネルギーを有効に利用する」や個別目標⑫「不法投棄やポイ捨てをなくす」に関する施策も全てこのグループに属します。

グループB（優先度、満足度がともに低いグループ）

このグループに属する施策は優先度・満足度のいずれも低いと評価されましたが、市民が身近に感じられないためか、満足度の質問に対して「わからない」との回答が多く見られました。

特に、地域レベルで環境を保全していくための基礎をつくる環境学習や環境活動などへの参加に関する個別目標⑬「環境情報のネットワークをつくる」個別目標⑭「環境について学び、理解する」個別目標⑮「環境活動を進める」などは、市民が身近に感じられるような普及・啓発への取り組みが今後の課題となります。

グループC・グループD（現在の満足度が高いグループ）

優先度の高低はあるものの、現行の施策に対して一定の成果を認められているグループです。

個別目標⑤「歴史や文化を大切にする」個別目標⑪「ごみの量を減らし、資源の循環を進める」重点プロジェクト③「マイバッグの利用促進」などが含まれます。

ただし、前述の通り施策に関する情報提供が不十分なために、満足度や優先度が正しく評価されていない項目も含まれていると考えられ、広報や普及・啓発の取り組みは今後も継続的に推進してゆく必要があります。

《 参考資料 ー満足度・優先度評価による各施策のグループ分けー 》

	満足度 0点未満	満足度 0点以上
優先度 5点以上	グループA 20項目 ① 樹林地や農地を守り、育てる 樹林地、草地などの保全 農地の保全 ② さまざまな生き物を守る 生き物の生育・生息環境の保全・創出 ③ 親しみのある水辺をつくる 水辺環境の保全 ⑥ 空気をきれいにする 大気汚染対策 悪臭防止対策 監視・測定継続実施 ⑦ 水や土をきれいにする 排水対策 土壌汚染・地下水対策 監視・測定継続実施 ⑨ 有害化学物質による汚染を防ぐ 有害化学物質の排出防止対策 有害化学物質に関する情報の収集・提供 ⑩ エネルギーを有効に利用する 省資源・省エネルギーの推進 新しいエネルギーの利用促進 ⑫ 不法投棄やポイ捨てをなくす 不法投棄・ポイ捨ての防止 環境美化活動の推進 ⑭ 環境について学び、理解する 学習教材の充実、指導者の育成 学校における環境教育・環境学習の推進 重点① 里山の保全・活用に向けたしくみづくり 遊休農地の解消 重点② 地球温暖化対策の推進 太陽光発電システム等の利用促進	グループC 7項目 ④ まちの緑を増やす 公用地内の緑化 ⑤ 歴史や文化を大切にする 歴史文化財の保存 巨樹・巨木林などの保全 ⑪ ごみの量を減らし、資源の循環を進める ごみの排出抑制(リデュース) 再利用(リユース)・資源化(リサイクル)の推進 重点③ マイバグの利用促進 マイバグキャンペーンの実施 マイバグ普及促進協力店の拡充
優先度 5点未満	グループB 10項目 ① 樹林地や農地を守り育てる 樹林地や農地とのふれあいの場の創出 ③ 親しみのある水辺をつくる 水辺とのふれあいの場の創出 ④ まちの緑を増やす 緑化推進のための人づくりと情報発信 ⑧ 騒音や振動などを低減する 自動車の騒音・振動対策 ⑬ 環境情報のネットワークをつくる 環境情報の収集・提供 環境情報の共有化促進 ⑭ 環境について学び、理解する 環境イベントなどの充実 ⑮ 環境活動を進める 地域における環境活動の推進 パートナーシップの構築 重点② 地球温暖化対策の推進 環境家計簿の普及	グループD 8項目 ② さまざまな生き物を守る 調査・観察会などの継続実施 ④ まちの緑を増やす 民有地内の緑化 ⑤ 歴史や文化を大切にする 歴史的文化的環境とのふれあい創出 ⑧ 騒音や振動などを低減する 工場・事業場などからの騒音・振動対策 光害対策 重点① 里山の保全・活用に向けたしくみづくり 市民参加による里山の維持管理活動の促進 自然観察会などの充実 重点③ マイバグの利用促進 ノーレジ袋デーの普及

7 印西市が目指す環境のキーワード

問7 印西市を代表する環境や未来に残したい環境、これから目指すべき環境の姿などを表わす言葉などをお答え下さい。(3つまで記述式)

回答数 759 (297人)

この設問に対しては、「自然」「青空」などの単語から「気持ちの良いまち」「空気がおいしい街」といった標語調、「美しい自然を残そうと地元では努力を子ども達に見せてきた」といった文章まで様々な回答が得られました。

ここでは、これらの回答を単語レベルまで分解することで、市民の皆さんが印西市の環境を思う時に使うキーワードを抽出しました。

最も多く使われた単語は「自然(94回)」で、次いで「里山(74回)」「緑(66回)」という結果でした。これから印西市が目指すべき姿として多くの市民が、里山の自然に恵まれた田園都市的環境をイメージしていることが分かります。

その他では、「水(19回)」や「水辺(18)」「印旛沼(10回)」「川(7回)」など、水辺環境に関する単語や、「安心(21回)」「安全(17回)」「住みやすい(7回)」「暮らし(7回)」など、安心して生活しやすい環境に関する単語も比較的多く見られました。

《 ー印西市が目指す環境のキーワード 出現数上位 64ー 》

No	キーワード(回答数)	No	キーワード(回答数)	No	キーワード(回答数)	No	キーワード(回答数)
1	自然 (94)	17	保全 (11)	33	ふるさと (6)	49	整備 (5)
2	里山 (74)	18	印旛沼 (10)	34	省エネ (6)	50	静寂 (5)
3	緑 (66)	19	人 (10)	35	笑顔 (6)	51	大切 (5)
4	美しい (27)	20	共生 (9)	36	町並み (6)	52	鳥 (5)
5	豊か (25)	21	広い (9)	37	白鳥 (6)	53	田舎 (5)
6	きれい (23)	22	空 (8)	38	野鳥 (6)	54	風 (5)
7	安心 (21)	23	公園 (8)	39	利根川 (6)	55	のびのび (4)
8	共存 (19)	24	農地 (8)	40	コスモス (5)	56	景観 (4)
9	空気 (19)	25	クリーン (7)	41	ニュータウン (5)	57	蛍 (4)
10	水 (19)	26	住みやすい (7)	42	育てる (5)	58	自然エネルギー (4)
11	水辺 (18)	27	川 (7)	43	花 (5)	59	小鳥 (4)
12	安全 (17)	28	調和 (7)	44	残る (5)	60	生き物 (4)
13	環境 (17)	29	田園 (7)	45	心 (5)	61	生活 (4)
14	子供 (16)	30	農業 (7)	46	新しい (5)	62	文化 (4)
15	都市 (14)	31	暮らし (7)	47	未来 (5)	63	融合 (4)
16	やさしい (12)	32	緑化 (7)	48	遊ぶ (5)	64	歴史 (4)

8 自由意見

問8 印西市の環境に関するご意見、ご要望、及び取組みを進めるにあたってのアイディアなどがあればご記入ください。（記述式）

回答数 180人

分類(意見数)		主な意見
自然環境 まちの緑 (56)	自然との共生 (30)	➤ 生物がたくさんいる自然を残し、調和・共生すること ➤ ニュータウンと自然環境が共生した田園都市型の環境を守ってほしい ➤ 道路、都市が開発されて、自然が失われている ➤ 印西市を「自然の中にある街」と謳うことで、市民の意識を高める ➤ 自然環境に親しむことができる施設や観光ができる場所の設置 ➤ 自然を保護する為の基金の創設 ➤ 市民が自然に触れ合える環境を守る取組みの増加 ➤ 野山の草花の移動禁止の法令化 ➤ 在来植生を残すなど、自然環境に配慮したまちづくり ➤ 森が伐採され資材置場や残土置場などになる自然環境の悪化 ➤ 野生動物が頻繁に車に引かれているのを見かけるので、生息している動物を知らせる標識を作してほしい ➤ 野鳥が激減しているので、広報などで保護の啓発をしてほしい ➤ 緑の自然と水辺というイメージが良い
	都市緑化 (15)	➤ 緑地が多くとても良い環境である ➤ 道路やビル、店舗の計画時に緑地を含め、在来の樹木を植樹してほしい ➤ 緑地は手入れを徹底すべき、野放し状態は良くない、見苦しい ➤ 北総線の周辺の緑化、整備(線路内空地) ➤ 市民が育てた植物を自由に移植できる森や、土を自然に返せる土地を提供できないか ➤ 街路樹の維持に経費がかかりすぎているので、ウッドチップを撒くなど手入れを減らす工夫をしてはどうか ➤ 剪定しすぎで日かげが少ないので、街路樹を大木に育ててほしい ➤ これ以上開発を行うのであれば、同じペースで木を植樹すべき
	里山環境 (5)	➤ 荒れた山林をきれいにするため、地域人に依頼する仕組みづくり ➤ 里山を管理して、昔のように子供達が歩いたり遊べたりする山を目指してほしい ➤ 里山については手を入れる必要はない ➤ 里山の保全に力をそそいでほしい。人工的な自然を(見せかけの)作りすぎないでほしい ➤ 開発され人口は増える一方で、環境が犠牲になるのはやむを得ない部分がある。里山の所有者や住民の意識など、調整が難しい
	その他 (6)	➤ 農地保全、地元農産物の支援 ➤ 印西市は花が美しい街だと思います ➤ コスモスを植えてほしい、大きなコスモス畑を作してほしい ➤ 松山下公園の入口のアプローチの大きな木の下の花は、植えかえの時が遅く、いつも見苦しい時が長くある ➤ 万葉公園四季折々の宿根花等を植えて頂けたら良いと思います

分類(意見数)		主な意見
環境教育 環境学習 参加・協働 (54)	情報提供 (26)	➢ 印西市の具体的な取り組みや環境の現状を知らない ➢ 環境基本計画がどんなものかわからない、PR 不足 ➢ 環境基本計画は一般にあまり知られておらず残念なので、駅やその他公共の施設等に掲示するなどもっとアピールすると良い ➢ 関心のない人でも、誰もが目にするような市民の集う場所でのPR活動を増やした方が良い(新聞折込やポスターなどを広範囲の施設に) ➢ 駅前で資料を配布し、植物の種をオマケで付けるなど工夫して啓発してほしい ➢ ホームページの充実 ➢ かわいい・かっこいい・面白い・エコグッズを作って啓発する ➢ 計画の進捗状況や活動状況を年数回でも「環境だより」で知らせてほしい ➢ 光化学スモッグ注意などの街頭アナウンスが聞き取りにくい ➢ 野焼きはダイオキシンの排出により大気汚染になるという事を広報紙だけではなく、他の方法で伝えていくべき ➢ 良いものを持っている本埜、印旛地区の自然や文化財を整備し、もっとPR すべき
	イベント (13)	➢ 楽しみながら考えられるイベント、遊び感覚で自然に触れ合える探検隊、小学校との共同イベントなど ➢ 印旛沼や公園などの清掃活動を目的としたイベントを行う ➢ 市行政が中心となった市としての最大のイベントを企画、各方面へ働きかけ参加を呼びかける ➢ スーパーの広場などで子供達に自然の大切さや里山の素晴らしさを伝えるイベント ➢ とくに田んぼや里への認識に隔たりがあると思うので、ニュータウン住民と古くから住んでいる住民とを引き合わせるような環境イベント ➢ 農作物の直売や参加してスタンプを集めるとエコバッグをもらえるなどの工夫をする ➢ 野鳥や野草を教えてもらいながら、印西市内を巡り歩く ➢ 稲毛で行われている”夜とぼし”のように、年1回、各家庭の電気を暗くして、外のランプなどの自然エネルギーでライトアップするイベント等 ➢ 出されたゴミを追って行く環境ツアー、不法投棄されたゴミの行方
	参加・協働 (12)	➢ 環境家計簿で目標を達成した人に努力賞を出す ➢ 取り組みの成果を見える化すれば、やりがいが出てくる ➢ 印西市内での環境に係わる市民活動が少ない ➢ 誰もが日常生活の中で取り組めることをする ➢ 市の職員、議員が指導者ではなくボランティアに参加し、その成果を広報すればボランティアの輪が広がる ➢ 道路を自分の庭と考え、草を抜き、ゴミを拾うように働きかける ➢ 自分たちの故郷がどうなるのか、市民が環境を含め未来へ参加していない ➢ 印西市にはビジネスで優秀な仕事をしている人たちがたくさんいることと思いますが、その知識や経験や意欲を地域に活かしている人は非常に少ない
	環境教育 (3)	➢ 学校における環境教育勉強の中、算数でも道徳の授業でも町内会自治会でも取り入れことができる ➢ 子供の頃から環境に関心を持たせるため学校での環境教育に力を注ぐ(ゴミの分別や川を汚す原因など)

分類(意見数)			主な意見
交通 (41)	道路整備 (23)		➤ 浅間山公園の入口に信号が欲しい ➤ 街灯が少なく夜道が危険(小倉台周辺、印西滝野地区、国道 464 号) ➤ 子供の通学路の安全性に不安がある ➤ サイクリングロードや散歩道、歩道の整備 ➤ 道路ののり面や歩道の草刈を定期的にしてほしい ➤ ジョイフル本田前の通りの混雑緩和 ➤ ニュータウン中央駅付近は歩道も広く、並木道もあり、いつも気持ち良く歩けます ➤ 沼周辺農道が通勤の抜け道に使われ、ごみの投げ捨て、騒音、排ガスの原因にもなっています。スピードも速く危険です ➤ 平賀～順大～酒水井の間、0メートル地帯あり過去にも暴風雨時、水害による交通止めがあるので、対策してほしい
	公共交通 (18)		➤ 印西と成田を結ぶ路線を作っていただきたい ➤ 電車・バスを充実させて車社会から抜け出せる市になってほしい ➤ 交通が不便すぎる。京成一本に頼らず他の交通手段も必要 ➤ 電気自動車化(公共又は民間のバスやタクシー)による CO2 削減 ➤ 北総線の運賃が高い ➤ ほとんどのお宅が何台も車を所有している。公共交通が不便なため、車に頼らざるを得ないので、交通量が多い ➤ レンタサイクルを復活する(有料 200 円くらいで) ➤ 元印旛の方のバスを増やすべき
都市環境 まちづくり (41)	都市開発 (16)		➤ 大型商業施設やマンションによって、自然や静けさが失われている ➤ 商業施設と住宅地、農地など計画的に保全し、乱開発のないよう管理してほしい ➤ 企業の立地条件に環境(印西独自)監査条件等を盛り込む ➤ まわりの自然を守る為、建物の高さ規制強化を望みます ➤ 昔からの田園風景と新しいニュータウン地区の共存できる、素晴らしい街づくりをお願いします
	都市景観 (16)		➤ 街路樹による連続性のある景観づくりができないか ➤ 景観を壊す広報看板の規制 ➤ まわりの自然を守る為、建物の高さ規制強化を望みます ➤ 高い建物により見晴らしが悪くなった ➤ 千葉NT、牧の原、日医大の駅前にマンションが建設されるのは景観としてはあまりよくないです ➤ 牧の原の町は電線がなく、とても美しい町のように見えます
	駅前整備 (5)		➤ JR成田線、駅前の都市開発の促進 ➤ 印西牧の原駅前のショッピングモールを活気のある施設にしたい ➤ 景観が悪いので木下駅前のつぶれたパチンコ店、工場を新しい施設にしてほしい ➤ 北総病院の駅前でもスーパーがなくなり買物難民と TV でも放送されました。他と同等となる様に取り組んで下さい ➤ ロータリーの樹木や花がほっとさせてくれます
	荒地 (4)		➤ 泉地区の大規模造成で、風が強い日は黄砂状態です ➤ 個人の土地が荒れ放題なので、行政が持ち主に整備を促してほしい ➤ まだまだ取り組んでもらいたい里山や沼や川の周辺が荒地となっています

分類(意見数)			主な意見
廃棄物 (31)	3R (12)		➤ ゴミの減量化・分別をもっと市民に働きかける ➤ ごみの分別をわかりやすくしてほしい。イベント等があれば参加してみたい ➤ ゴミ袋に名前を書き、各家庭での環境問題に対する意識を高める ➤ スーパーやオコーのように、毎日いつでも資源ごみを回収できるステーションが各地にあることが望まれます ➤ 放置自転車、乗らなくなった自転車の販売会 ➤ 若い主婦層をねらって野菜ソムリエの料理教室を開催し、無駄のない野菜の使い方や保存法を学ぶ ➤ リサイクルできる物の回収などに取り組んでもらいたい
	廃棄物処理 (9)		➤ 竹袋、草深などの不法投棄、ポイ捨てが多く、気になっています ➤ 都市化によって交通量が増え、不法投棄の増加も顕著です。沿道環境を整備し、捨てにくい環境にしてほしい ➤ プラスチックゴミの有効なリサイクルはされているのか ➤ プラスチックの処理があまりにも細かくお金のムダだと思う ➤ 燃えないゴミのゴミ袋が小さすぎる(大も売って下さい) ➤ 家庭のゴミを自宅の庭などで焼却するお宅が多く困っている
	クリーンセンター (6)		➤ 可燃ゴミ、資源ゴミの袋を統一できるよう焼却炉を設置してほしい ➤ クリーンセンターが中央駅に近いのはどうかと思う、なくしてほしい ➤ クリーンセンターの焼却熱を利用してのプールや大浴場等、他市に誇れる環境保全意識の高さを感じる。これが駅から歩けるということが他地域の方々にも使ってもらい易い
	マイバッグ (4)		➤ 市限定エコバッグを作り市民にも購入してもらえる様にする ➤ チーバくんやエコネの描かれたエコバックを配り、地元愛につなげる ➤ レジ袋の有料化によってマイバック利用を促進し、ゴミ袋は無料、引き下げとする
行政への 要望 (21)	アンケート (8)		➤ このアンケートは家族をもっている人が対象だなと感じました ➤ 設問が多く、内容が理解できない。もっと簡単で楽しいものを ➤ WEB などに関心のある分野を自由に選択して回答できると良いかと思う ➤ 毎回アンケート用紙が送られてくるが、前年度の実績がどの様になっているか、わからないので比較できる様なデータがほしい ➤ そもそもこのアンケートの意味が十分理解できない
	意識啓発 (5)		➤ 環境問題は、地球は人間だけのものではないと思うことから始まると思う ➤ 農村部で環境意識が低い、畑でのビニールを燃やす等、モラルの問題だと思う ➤ まずは一人一人が環境問題を意識して身の回りの出来る事から始める事が大切だと思う ➤ 路駐が平気な人を意識改良させるとりくみが必要
	その他 (8)		➤ 駅前交番が出来てもいつも不在 ➤ 公園が多くて良い反面、暗くて危険な所がある。センサーライトや監視カメラ等も必要 ➤ 助成金をなるべく出す取り組みをしてほしい、そのためにお金のむだをなくすこと ➤ 環境を重視すると税金がそちらに多く使われることになる。公園などの整備は適当に止める時代と思う

分類(意見数)		主な意見
公園・遊び場	(15)	➤ 木下東の公園4つとも水道とてもきたないです ➤ 草木色々楽しむいいの場や健康スポットコースを作ってはどうか ➤ 子供が自然を楽しむ遊び場や、緑の森を生かしてアスレチックを作してほしい ➤ 周りに公園はたくさんあり緑も多く広いので良いが、遊具が少ない ➤ 花の丘公園はもう少し手入れが行き届いていると良い ➤ 魚釣りができる場所の設置
まちの美化	(12)	➤ 千葉NT中央駅前にある指定喫煙場所は良いが、簡単な吸殻入れを設けてほしい ➤ 千葉ニュータウン駅前の喫煙所は子供達も通る場所なので、なくしてほしい ➤ 公園や駅ロータリーは、日を決めて、住民によるクリーン作戦をしてはどうか ➤ 犬を散歩させる人のマナーの徹底 ➤ 全市民によるゴミゼロ運動を実施し、その成果を広く知らせる
放射能関連	(12)	➤ 定期的、継続的な放射線量の測定をしてほしい ➤ 放射線情報の収集と開示 ➤ 草深公園、西の原、原地区のグラウンドも念のため除染、土の削りをしてほしい ➤ 国の基準はあてにならない。しっかり自治体に自主性をもってほしい
生活環境	(10)	➤ 養鶏場のニオイが強い ➤ 騒音を発するバイク(夜間、休日の国道 356 号のツーリング) ➤ 印旛沼を少しでも早く浄化する事が先決 ➤ 上・下水道の整備を進めてほしい ➤ 生き物がいる水辺とのふれあいの場がほしい
その他 (54)	新エネルギー (7)	➤ 最先端エネルギー技術を積極的に誘致し、クリーンで豊かな街づくりを目指す ➤ 太陽光発電等、自然エネルギーを使った発電システムを促進させる ➤ 風力発電の有害性を調査してほしい。住宅地近くにつくるのは反対
	病院・公共施設 (7)	➤ 学校、幼稚園、病院が少ない ➤ 福祉・病院・お店などもう少し充実していたらよい
	環境衛生 (2)	➤ 印旛沼周辺住宅の合併浄化槽補助を充実させてほしい ➤ 木刈地区において蚊の発生原因の究明、除去
	その他 (38)	➤ 土ぼこりの対策をしてほしい(畑や学校) ➤ 田畑や緑、公園も多く、空気がきれい ➤ 将来に残したいと思える場所をこれから作してほしい ➤ 太陽光発電、生ゴミ処理器の補助金等、これからも普及のために動いてほしい ➤ 東京電機大学や竹中工務店の技術研究所が市内に在るという恵まれたものを是非いかしてほしい ➤ 農産物直売所がすごくいい ➤ 近所に野良猫を庭で飼っている人がいて、その猫が他人の庭で便をし、迷惑を受けている ➤ 印西市の長期ビジョンに電力自立都市を ➤ 重点プロジェクトをしっかりと取り組んでいきたい

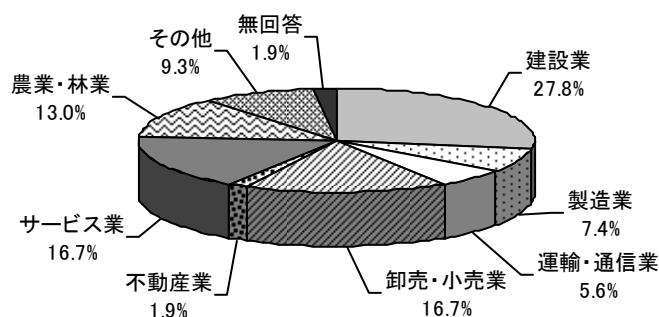
事業者意識調査の結果

1 事業所の属性

問1-1 貴事業所の業種は何ですか。（1つ選択／11選択肢）

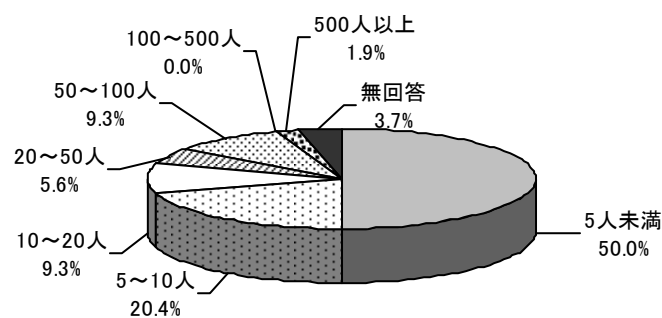
回答数 53

※「その他」を選択した事業者(3社)はメンテナンス業、修理販売業、廃棄物処理業



問1-2 貴事業所の従業員数は何人ですか。（1つ選択／7選択肢）

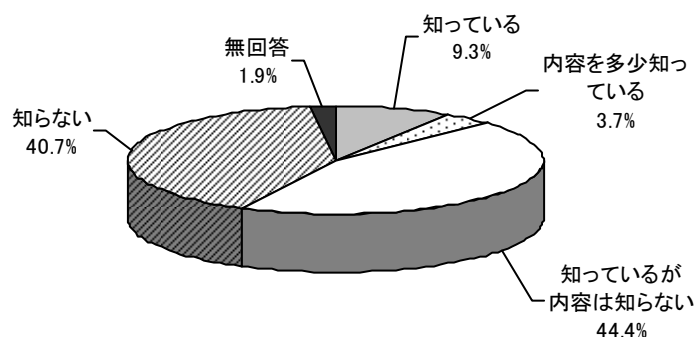
回答者数 52



2 印西市環境基本計画について

問2-1 貴事業所では、「印西市環境基本計画」をご存知ですか。（1つ選択／4選択肢）

回答数 53

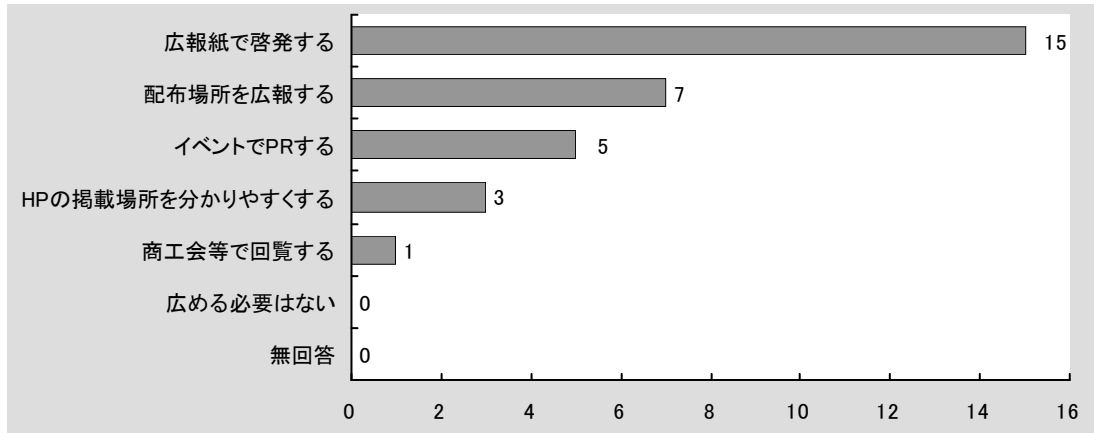


問2-2 問2-1で「知らない」と答えた事業者(28社)に質問します。
計画を広めるためにどのような取組みをしたらよいと思いますか。(1つ選択／5選択肢)

回答数 31

※ 問2-1で「知らない」以外を選択した事業者の回答(9社)を含む

※ 問2-1で「知らない」を選択し、問2-2を回答していない場合のみ無回答(0社)とした



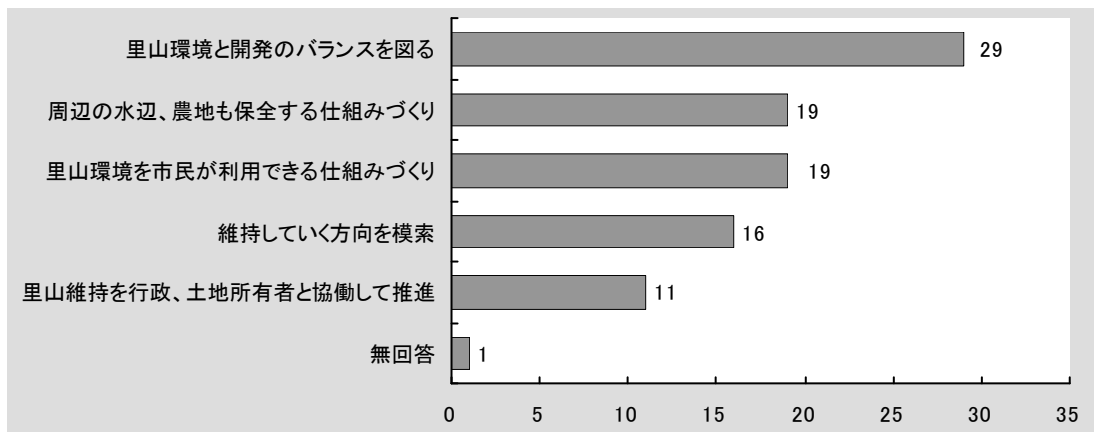
環境基本計画の認知状況(問 2-1)は、「知っている」「計画の内容を多少知っている」「計画は知っているが、内容はあまり知らない」を合わせると 57.4%と回答の半数を超えており、市民意識調査の結果(37.7%)を大きく上回りました。

また、計画の周知方法(問 2-2)については、市民調査と同様、広報紙による方法が支持されました。

3 重点プロジェクト(重点的に実施する取組み)について

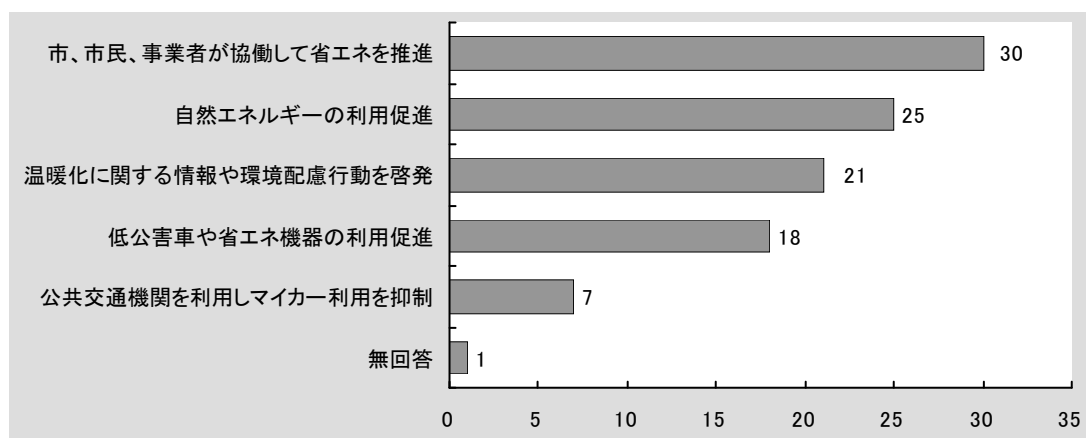
問3-1 市内に残る里山の保全と活用を進めていくために、貴事業所ではどのようにしたらよいと思いますか。(2つまで選択／5選択肢)

回答数 94 (53社)



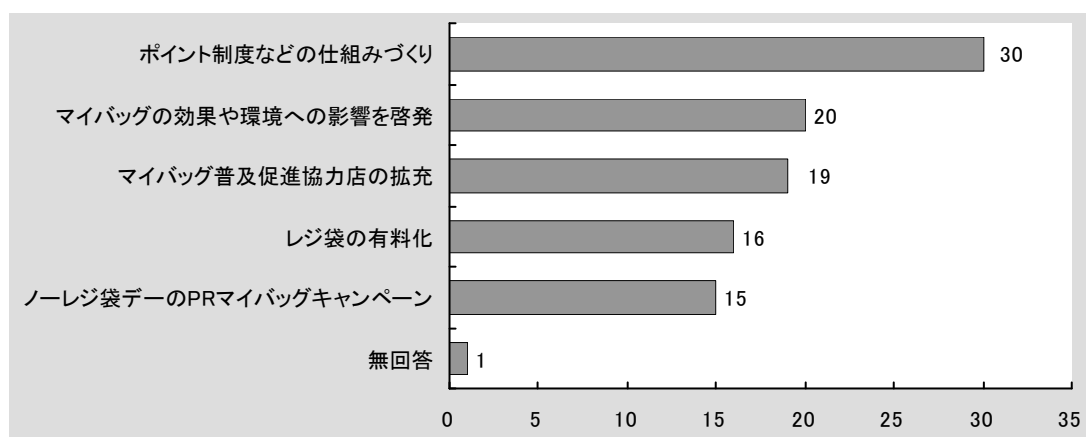
問3-2 地球温暖化を防止するために、貴事業所ではどのような取組みを進めていくことがよいと思いますか。（2つまで選択／5選択肢）

回答数 101（53社）



問3-3 マイバッグの利用を促進するために、貴事業所ではどのようにしたらよいと思いますか。（2つまで選択／5選択肢）

回答数 100（53社）

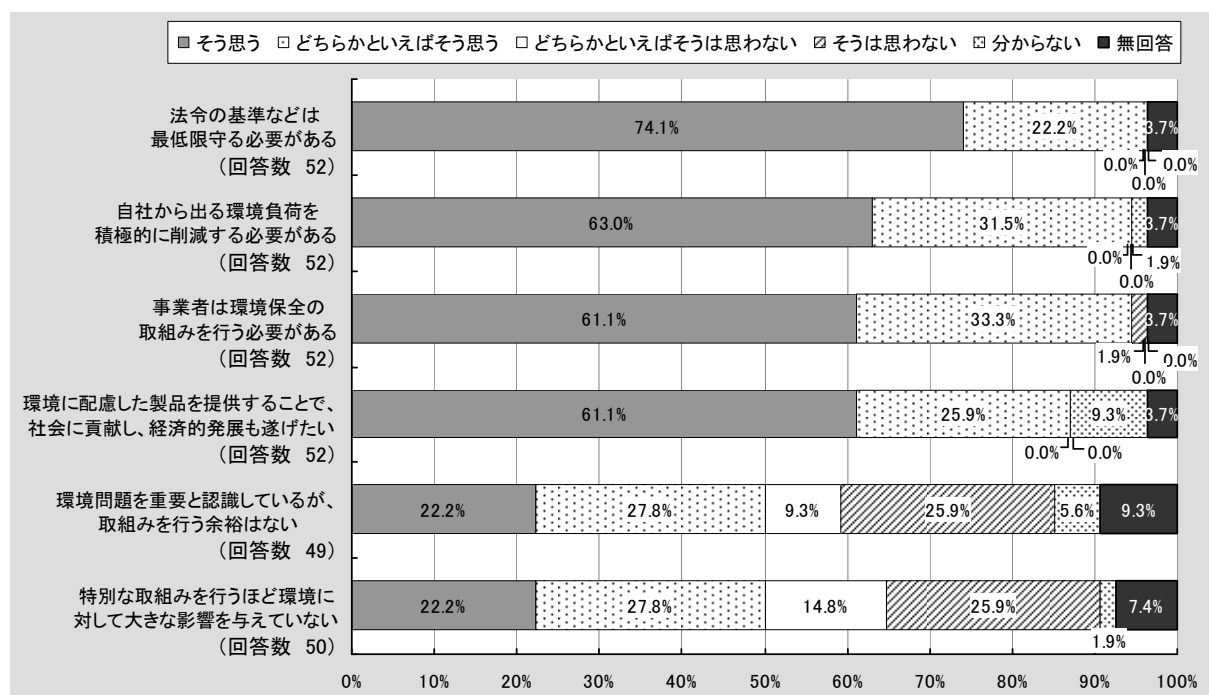


重点プロジェクトの推進方法について、里山保全対策では「里山環境と開発のバランスを図る」、温暖化対策では「市・市民・事業者の三者が一体となって省資源・省エネルギーを進める」、マイバッグの利用促進で「ポイント制度などの市民・事業者双方にメリットのある仕組みをつくる」が支持されました。

これらの対策について、市民や行政だけに依存せず、事業者自身が参加していく意思が表れた結果と言えます。

4 環境問題に対する認識について

問4-1 貴事業所では、環境問題についてどう考えますか。（各1つ選択／5選択肢）

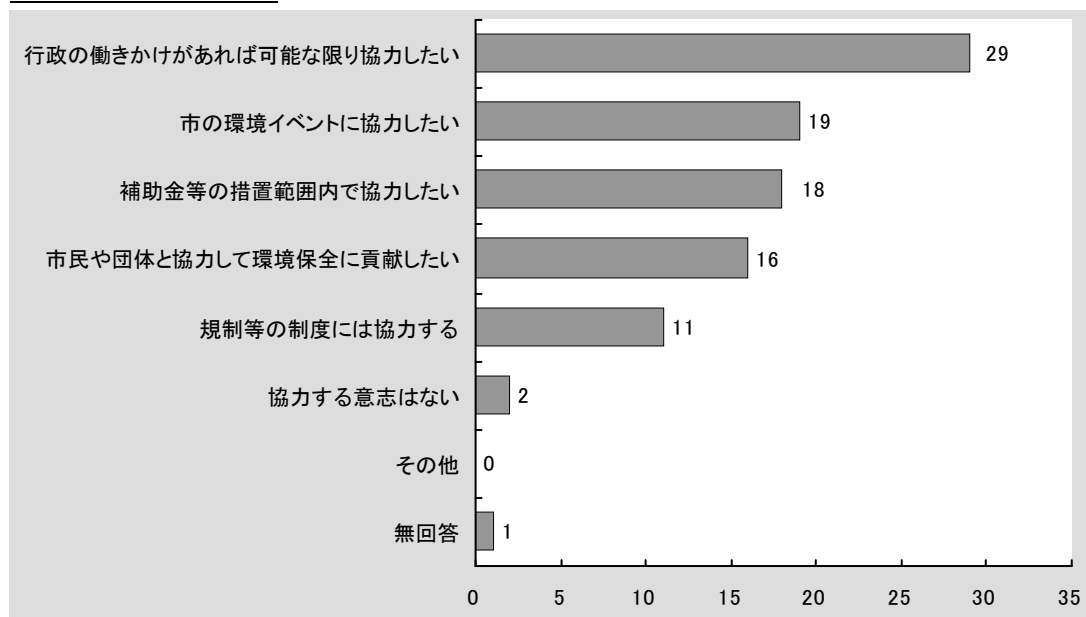


環境問題に対する考え方については、「法令の基準などは最低限守る必要がある」「自社から出る環境負荷を積極的に削減する必要がある」「事業者は環境保全の取組みを行う必要がある」といった設問に対して、「そう思う」か「どちらかといえばそう思う」と答えた事業者が9割以上に上っており、多くの事業者が事業に伴って発生する環境負荷の影響やそれに対する責任を受け止めています。

一方で、「環境問題を重要と認識しているが取組みを行う余裕はない」という設問については、半数の事業者が「そう思う」もしくは「どちらかといえばそう思う」と答えており、厳しい経済状況が環境対策の障害にもなっていることがわかります。

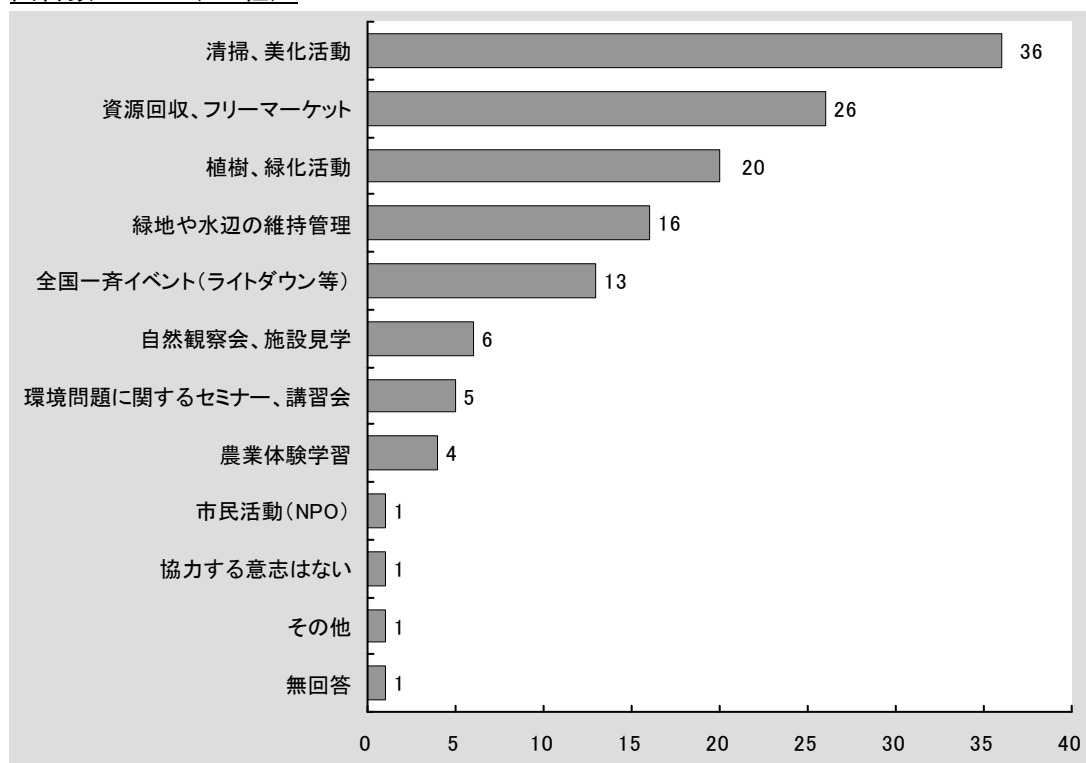
問4-2 貴事業所では、事業者が行う地域に対する環境活動についてどう考えますか。
(2つまで選択／7選択肢)

回答数 95 (53社)



問4-3 貴事業所で地域の環境活動に協力する場合、どのようなものに協力したいですか。
(3つまで選択／11選択肢)

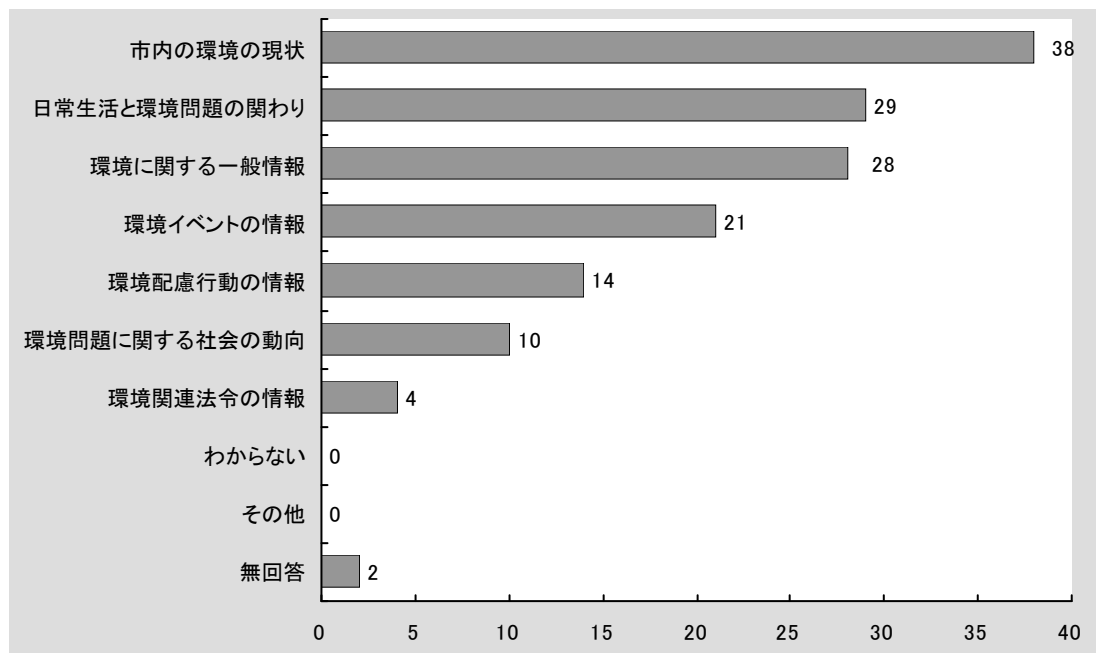
回答数 129 (53社)



環境活動への参加意欲は高く、例年通り「清掃活動・美化活動」や「資源回収などのリサイクル活動、フリーマーケット」に協力したいという回答が多い結果となりました。

問4-4 貴事業所が、環境についてより関心を深めるためには、どのような情報が必要と考えますか。
(3つまで選択／9選択肢)

回答数 144 (52社)

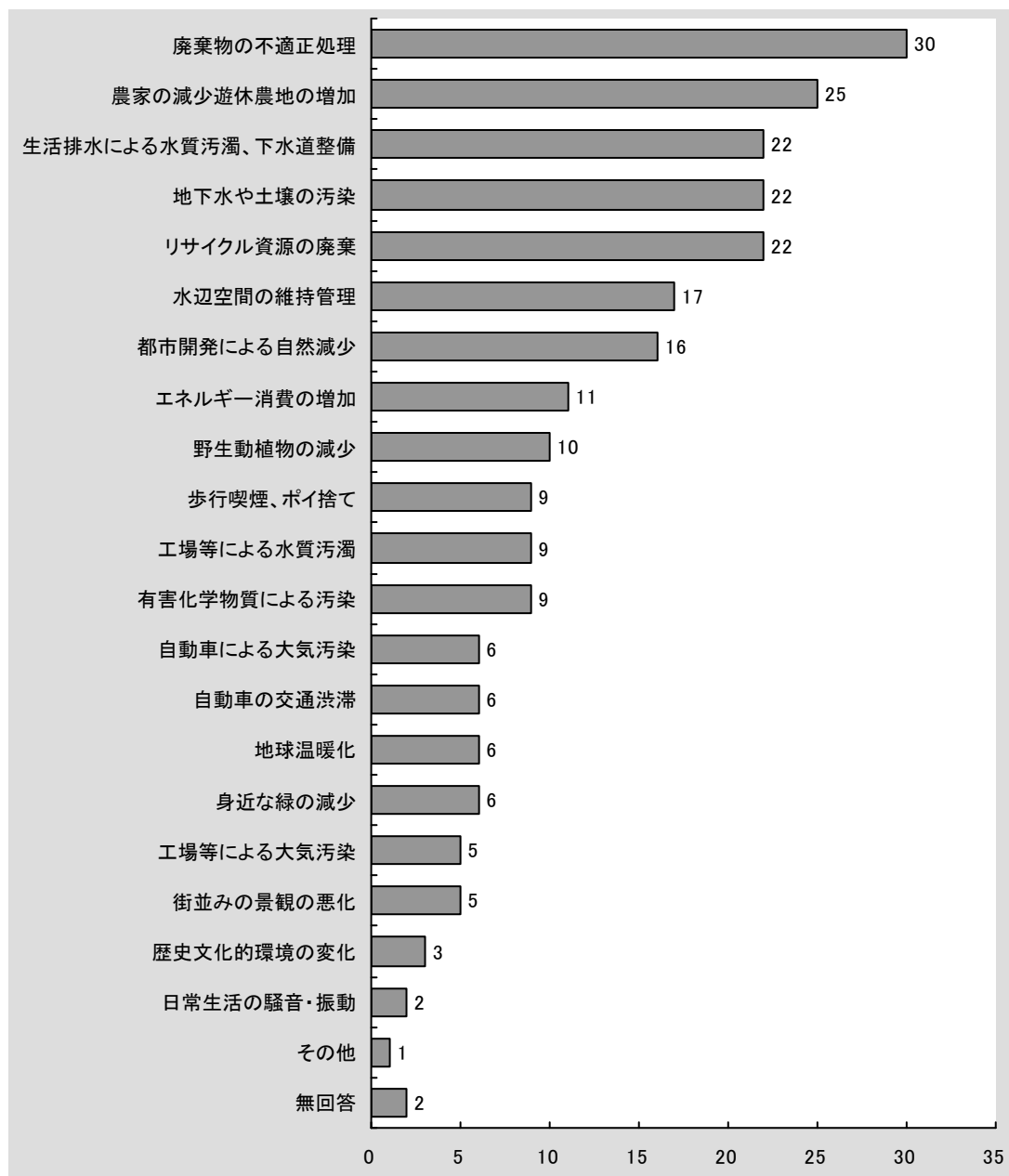


環境について関心を深めるために、「市内の環境の現状」や「日常生活と環境問題の関わりが分かる情報」、「環境に関する一般情報」などの情報が求められています。この結果は過年度調査でも同様の傾向であり、市としては、広報やホームページ、環境白書等を通じてこれらの情報を積極的に発信していく必要があります。

5 市内の環境について

問5 貴事業所では、印西市が早急に取り組むべき環境問題は何だとお考えですか。
(複数選択／21選択肢)

回答数 242 (52社)



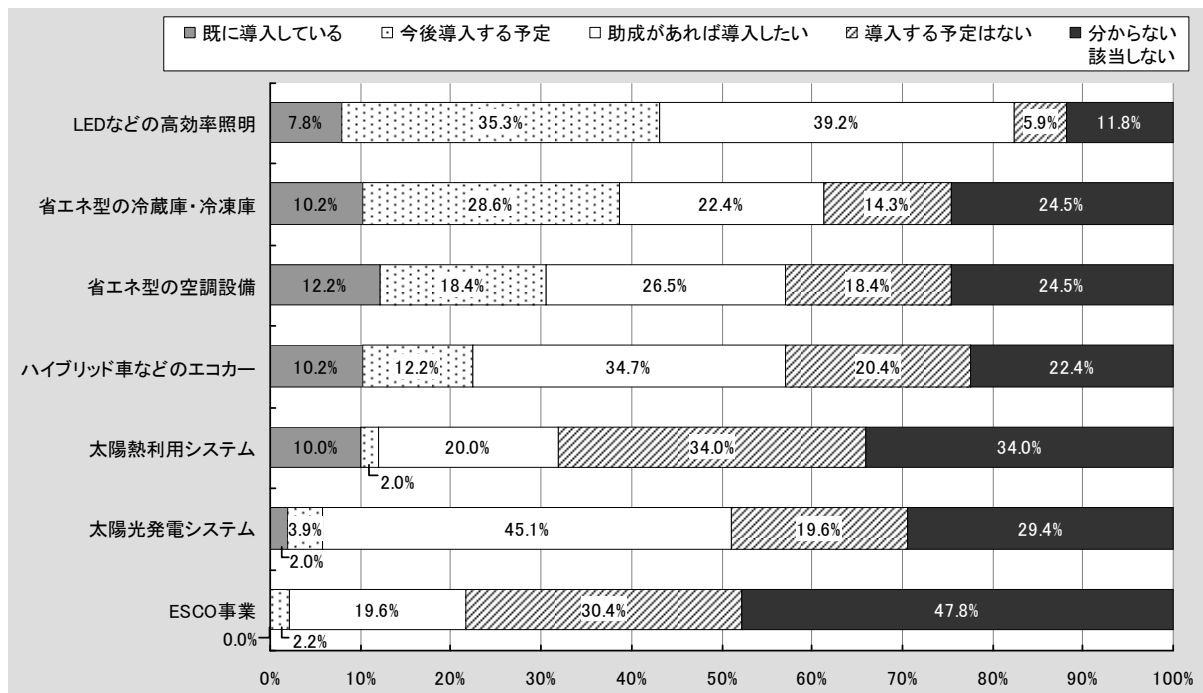
印西市が早急に取り組むべき環境問題としては、「不法投棄などの廃棄物の不適正な処理」が最も多く選ばれ、市民意識調査と一致しました。次に支持されたのは「農家の減少と遊休農地の増加」で、農業従事者からの意見（問題意識）が反映された結果と考えられます。

また、過去の調査では上位に挙げられなかった「地下水や土壌の汚染」が、今回の調査では4番目に多く支持されました。市民意識調査でも同様の結果が見られ、問題意識が高まっていることがわかります。

6 貴事業所の環境行動への取組みについて

問6-1 貴事業所における省エネ対策の導入状況はいかがですか。（各1つ選択／4選択肢）

回答数 242（52社）



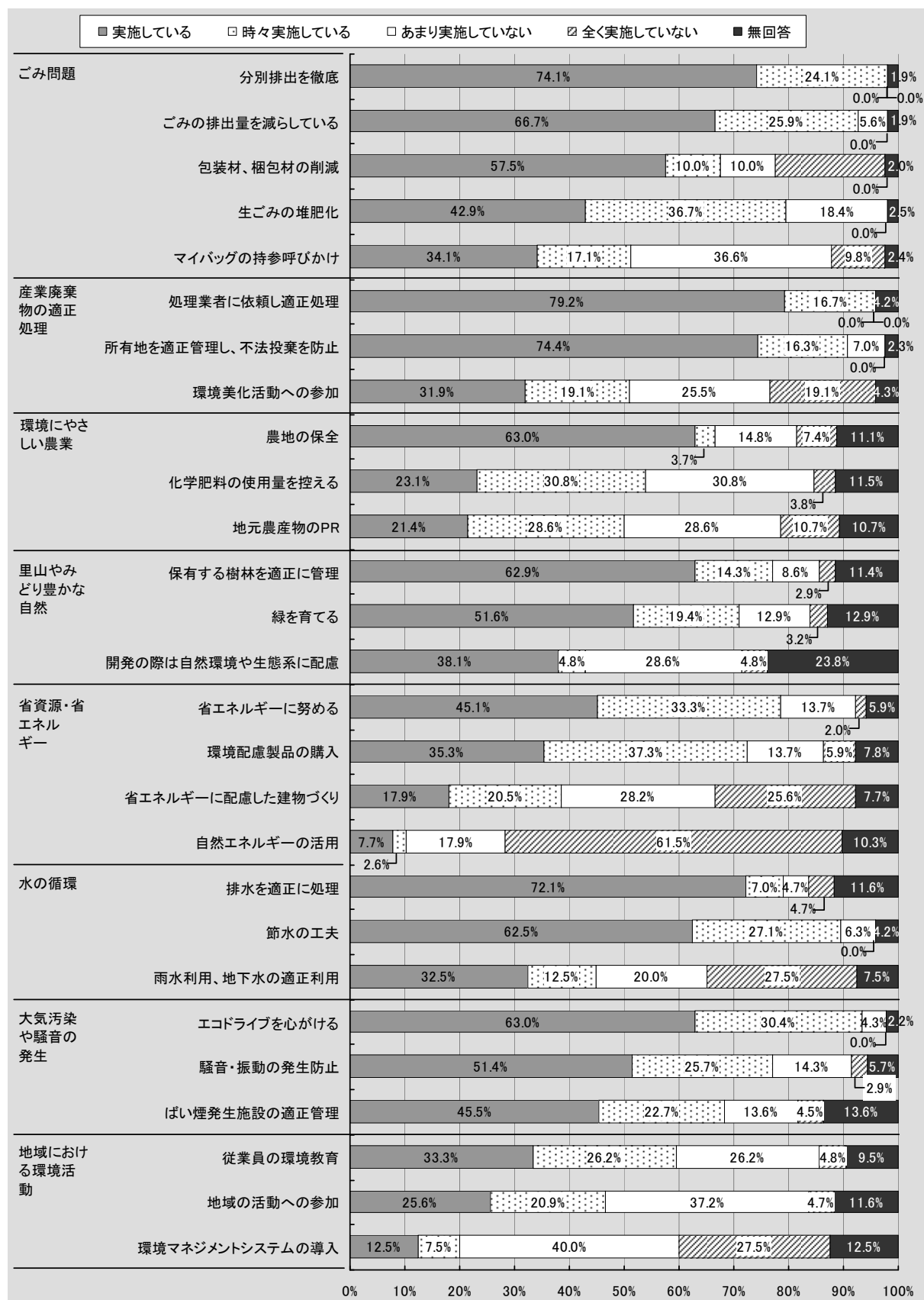
事業所における省エネ設備の導入実績については、エネルギー効率の高い「省エネ型の空調設備」（12.2％）が最も多く、次いで「省エネ型の冷蔵庫・冷凍庫」や「ハイブリッド車などのエコカー」（ともに 10.2％）が多く導入されています。

一方、今後の導入予定では「LED などの高効率照明」（35.3％）や「省エネ型の冷蔵庫・冷凍庫」（28.6％）が多く挙げられました。また、「助成があれば導入したい」という意見も多く、特に「太陽光発電システム」（45.1％）や「LED などの高効率照明」（39.2％）、「ハイブリッド車などのエコカー」（34.7％）など、初期投資額の大きい設備への助成が求められています。

事業所における環境行動の実践状況（次頁参照）については、「産業廃棄物は処理業者に依頼して適正に処理する」や「所有地を適正に管理し、不法投棄を防止している」、「ごみや資源の分別排出を徹底し、リサイクルに努める」などへの取組み状況が良好で、ごみ問題や廃棄物処理、不法投棄問題への積極的な取組みが行われています。

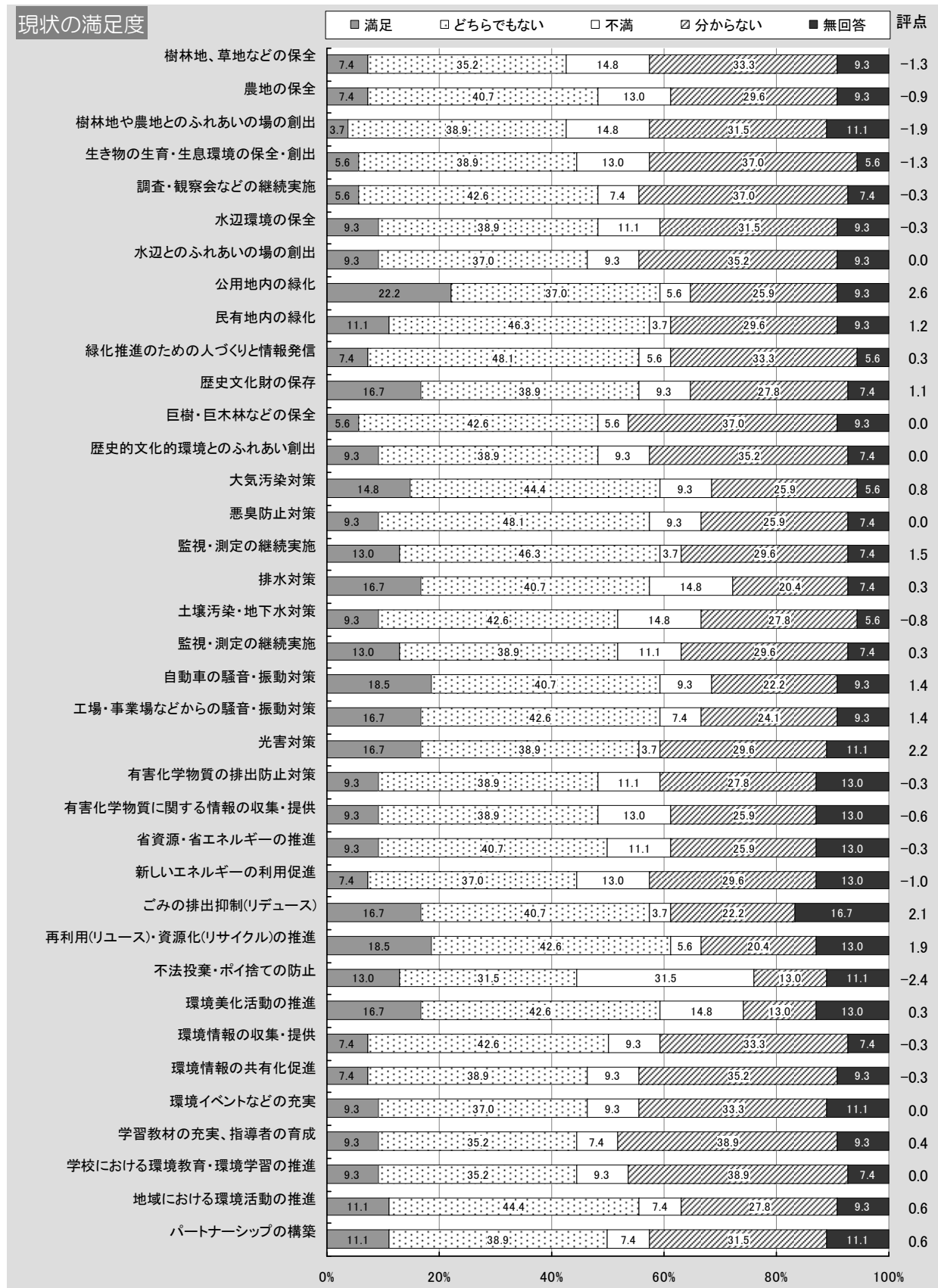
一方、これらと比べて低調な取組み状況となっている「地域の環境活動への参加・協力」についても、「実施している」と「時々実施している」の合計を過去2年間と比較すると、「従業員の環境教育」（30.1％→41.1％→59.5％）、「地域活への参加」（30.1％→35.9％→46.5％）、「環境マネジメントシステムの導入」（14.3％→8.4％→20.0％）といずれも上昇傾向にあり、環境意識と環境行動の高まりが感じられます。

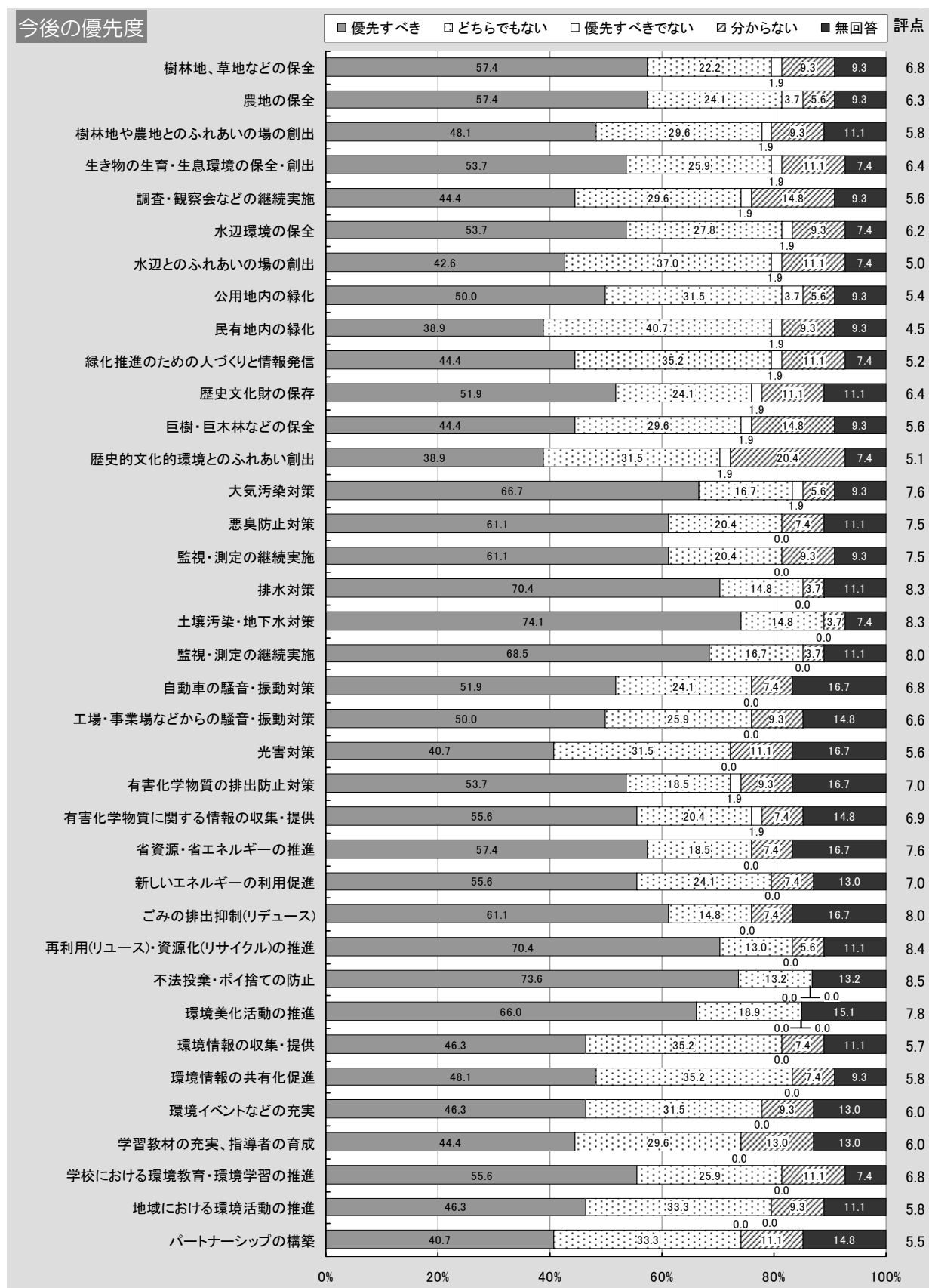
問6-2 貴事業所では以下のような環境行動を実践していますか。（各1つ選択／4選択肢）



7 環境施策の満足度・優先度

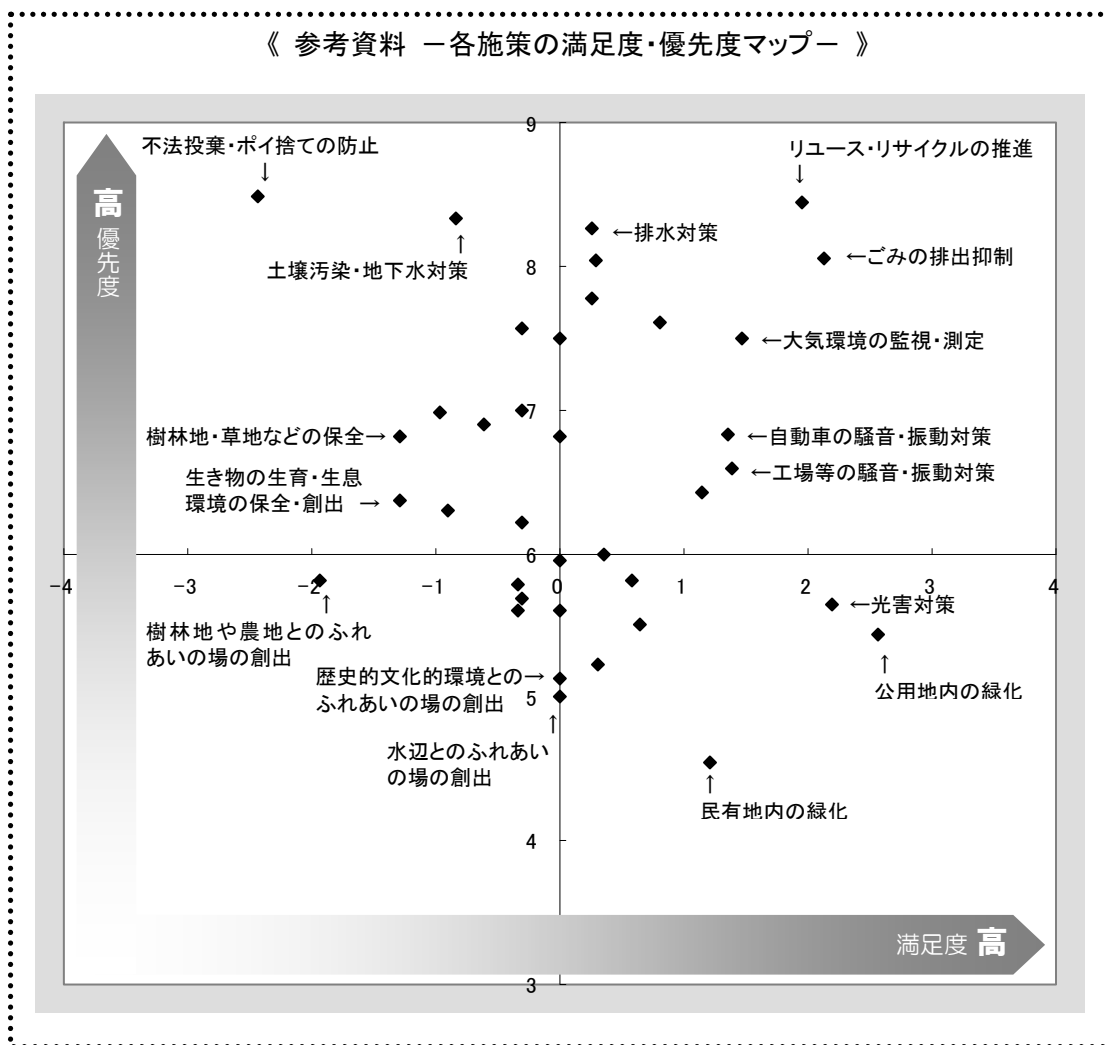
問7 これまでの環境施策や環境の現状に対する満足度と今後における対策の優先度を教えてください。（満足度と優先度について各1つ選択／4選択肢）





■ 満足度・優先度の点数化

各施策の現状に対する満足度と今後における優先度を市民意識調査と同様の方法でマップ化しました。



現状への満足度を見ると、「公用地内の緑化（2.6 点）」「光害対策（2.2 点）」「ごみの排出抑制（1.1 点）」「リユース・リサイクルの推進（1.9 点）」などは満足度が比較的高く、「不法投棄・ポイ捨ての防止（-2.4 点）」「樹林地や農地とのふれあいの場の創出（-1.9 点）」などが低かった。特に「不法投棄・ポイ捨ての防止」は優先度（8.5 点）も最も高く、この結果は市民意識調査とも一致していた。

次いで優先度が高かったのは「リユース・リサイクルの推進（8.4 点）」や「土壌汚染・地下水対策（8.3 点）」「排水対策（8.3 点）」でした。

一方、「民有地内の緑化（4.5 点）」や「水辺とのふれあいの場の創出（5.0 点）」「歴史的文化的環境とのふれあいの場の創出（5.1 点）」などは緊急性が低いという意識が表れています。

8 印西市が目指す環境のキーワード

問8 印西市を代表する環境や未来に残したい環境、これから目指すべき環境の姿などを表わす言葉などをお答え下さい。(3つまで記述式)

回答数 759 (297人)

市民意識調査と同様に、集まった回答からキーワードを抽出した結果、最も多く使われた単語は「緑(8回)」で、次いで「自然(6回)」「調和(4回)」「水(4回)」という結果でした。市民意識調査結果と同様、里山の自然に恵まれた田園都市的環境をイメージするキーワードが多く支持されています。

その他では、市民意識調査でも多かった「安心(2回)」「安全(2回)」「里山(2回)」などが挙げられました。

《 一印西市が目指す環境のキーワード 出現数上位 16 - 》

No	キーワード(回答数)	No	キーワード(回答数)	No	キーワード(回答数)	No	キーワード(回答数)
1	緑 (8)	5	心 (3)	8	安心 (2)	8	空 (2)
2	自然 (6)	5	ゴミ (3)	8	安全 (2)	8	農地 (2)
3	調和 (4)	5	豊か (3)	8	共生 (2)	8	人 (2)
3	水 (4)	8	明るい (2)	8	里山 (2)	8	整備 (2)

9 自由意見

問9 印西市の環境に関するご意見、ご要望があればご記入ください。(記述式)

回答数 11社

主な意見
▶ ゴミを燃やす市民が多く、悪臭等で大変迷惑している、厳しく取締りをして欲しい ▶ 見通しが悪い上に樹木を敷地内からはみ出している世帯が多い ▶ 新しく造る住宅には、市で補助金を出して植木の垣根を奨励したらよい ▶ 印旛沼の浄化等の取組みをお願いしたい ▶ マンホールに段差があり、大型自動車等の振動音が大きい ▶ 心休まる街づくり ▶ これまでも環境に関する取り組みがなされてきたが、あまりにも中途半端 特にエネルギーや CO ₂ の削減等については、具体的な目標値を示して取り組まなければ、大きな効果が得られない ▶ 自分達が公害を発生している自覚もあり、再利用などの取組みに苦しんでいる人はたくさんいる 環境に良いことだけをするのが理想と思うが、個人経営ではどうにもならないことがある ▶ 住民団体等が自由に気軽に参加できるシステムがあれば良い ▶ 上下水道を全域に普及してほしい ▶ 道路の雨水排水がつまっていて、雨が降ると道路が水びたしになる ▶ 森のバイオマス利用

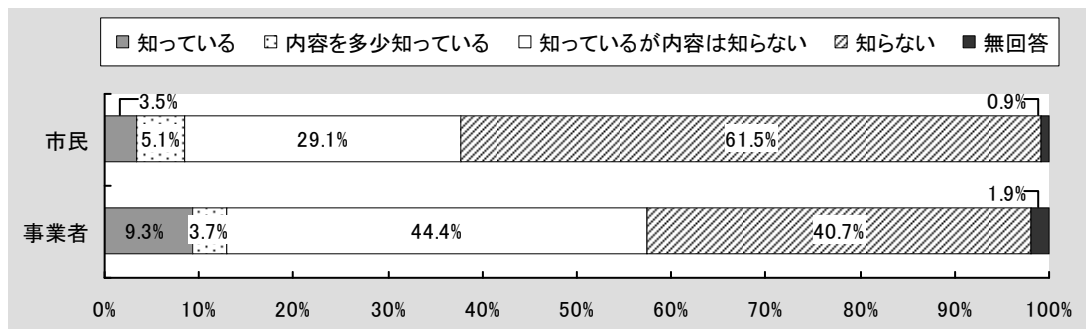
市民及び事業者意識調査結果の比較

■ 比較方法

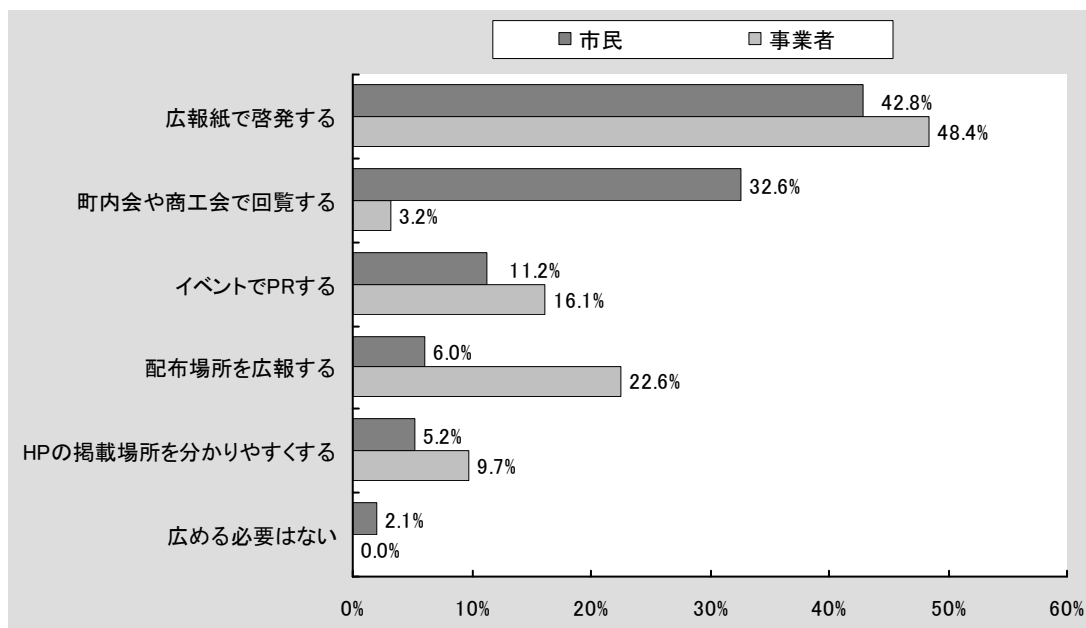
- ・市民と事業者で同じ聞き方をしている設問について、両者の回答結果を比較しています
- ・回答結果は、各選択肢の選択割合（各選択肢の選択数 ÷ 回答数）を集計しました
ただし、複数選択式の設問については「無回答」を含まない選択割合を示します

比較1 環境基本計画の認知状況

1-1 「印西市環境基本計画」をご存知ですか。 (市民 問2-1と事業者 問2-1の比較)



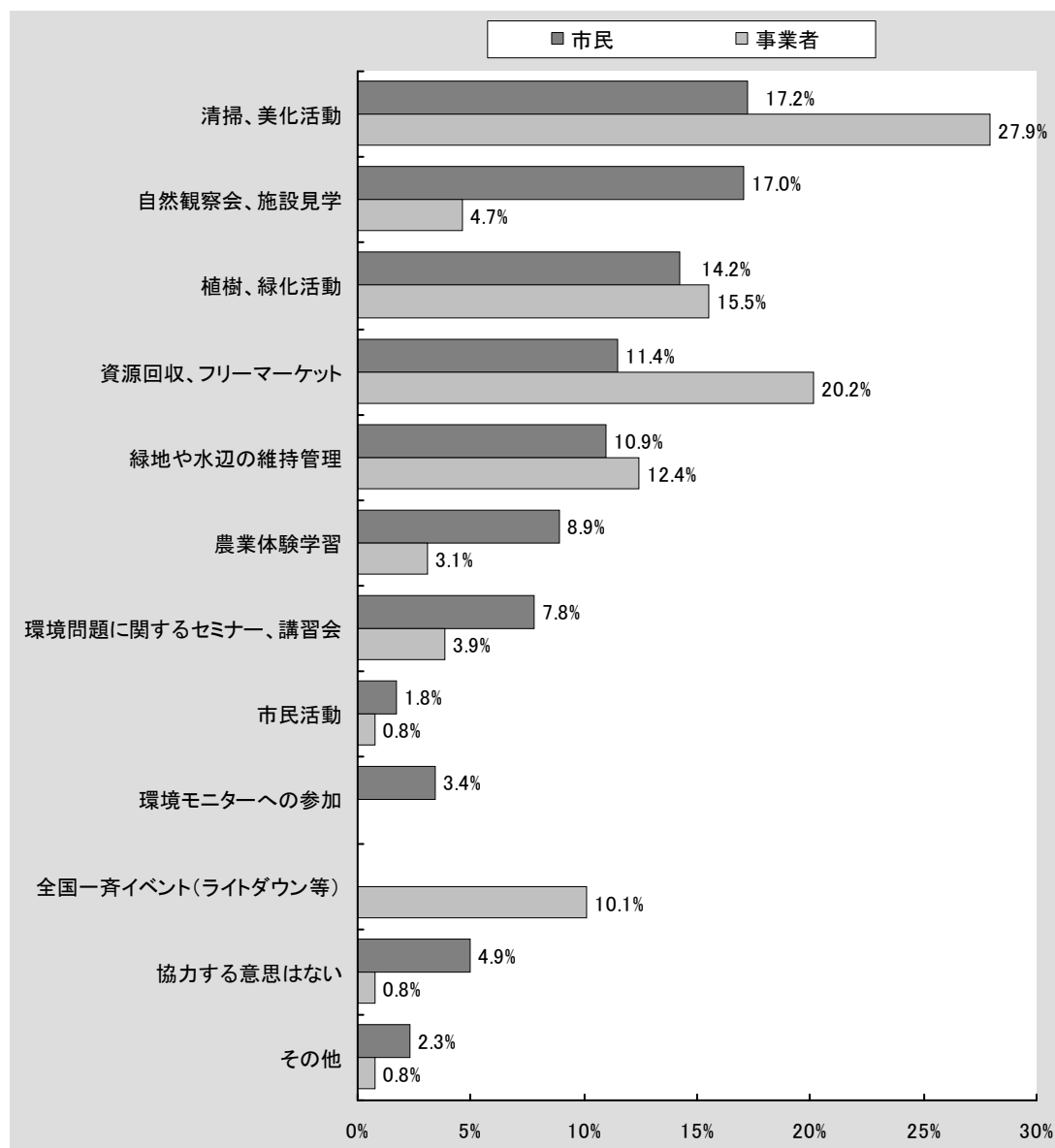
1-2 「計画のことを知らない」と答えた方に質問します。 計画を広めるためにどのような取組みをしたらよいと思いますか。 (市民 問2-2と事業者 問2-2の比較)



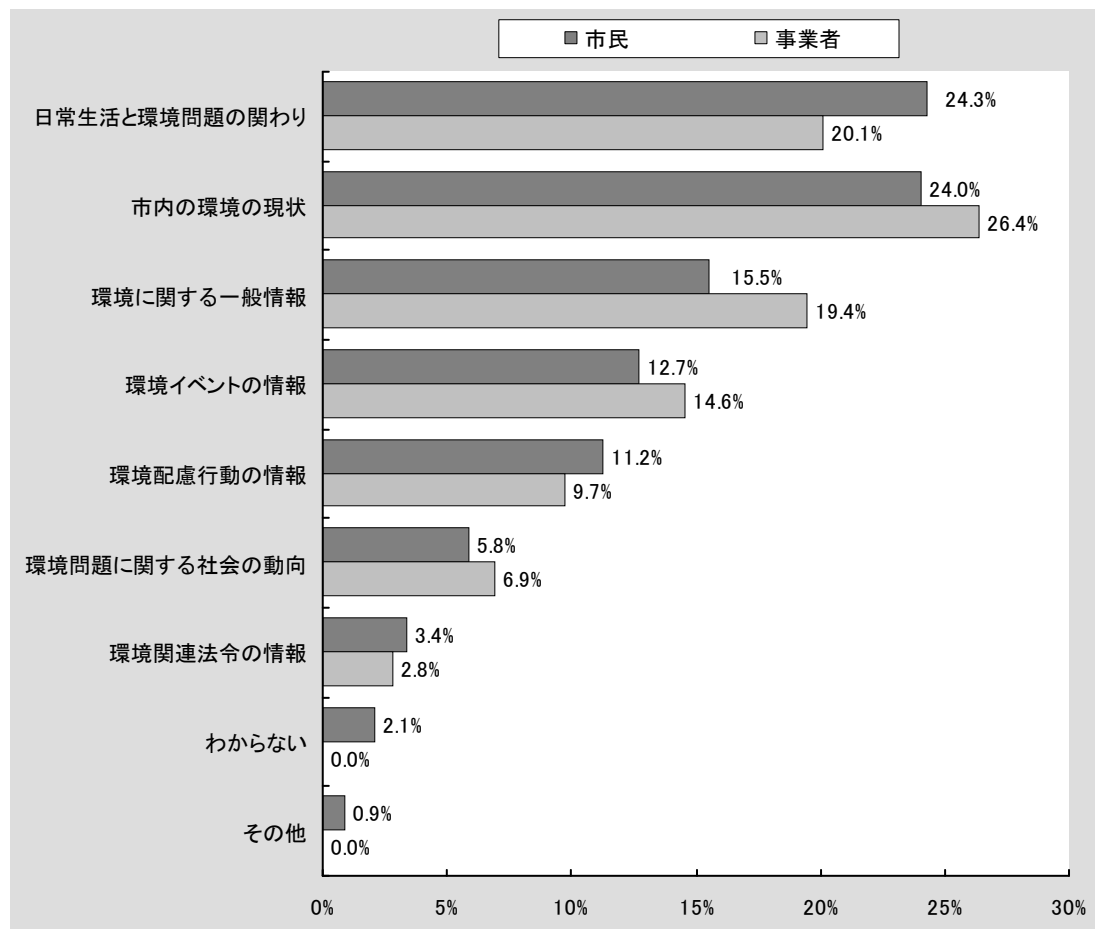
比較2 環境問題に対する認識について

2-1 印西市の環境保全に関するイベントや活動などで今後取組みたいもの、協力したいものがありますか。(市民 問3-2と事業者 問4-3の比較)

※「環境モニターへの参加」は市民のみ、「全国一斉イベント(ライトダウン等)」は事業者のみの選択肢です



2-2 環境についてもっと関心を深めるためには、どのような情報が必要と考えますか。
(市民 問3-3と事業者 問4-4の比較)



2-3 市が早急に取組みを進めるべき環境問題は何ですか。
(市民 問4-1と事業者 問5の比較)

